はじめに

このたびは「SoftBank X01T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●SoftBank X01Tをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
●本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。
●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank X01Tは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意
・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

●電話機　●電池パック（TSBAW1）　●電池カバー　●急速充電器（TSCAW1）

●ステレオイヤホンマイク（TSLAW1）　●USBケーブル（TSDAW2）　●取扱説明書

●ファーストステップガイド　●お使いになる前にディスク（CD-ROM）※

●スタイラス（TSPAW1またはTSPAW2）

※ 試供品です。オプション品としてのお取り扱いはございません。X01T用のMicrosoft ActiveSync セットアッププログラムや必要なドライバプログラムなどが収録されています。

※「お使いになる前にディスク」をお使いになるにあたっては、Adobe®Flash®Player 8以降を、お使いのパソコンにあらかじめインストールしておいてください。

●その他オプション品につきましては、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

●本機は、miniSDメモリカード（以降、メモリカードと記載）を利用できますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをご利用ください。

目次

1 ご利用になる前に

2 電話の機能

3 メールの機能

4 文字の入力方法

5 各種設定について

6 接続について

7 アプリケーションとマルチメディアについて

8 付録

本書の見かた

本書では、「X01T」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
USIMカードを本機ではSIMカードと表示されますが、同一のカードとなりますのでご注意ください。

記号について

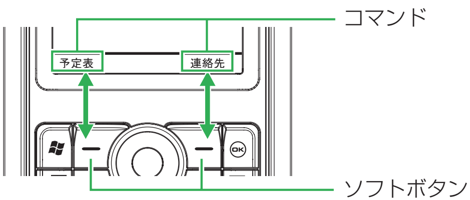
本書では、操作の説明に「→」を使用しています。「→」は操作の手順を示しています。
アイテムの選択は基本的にスタイラスを使用してタップする操作で説明しています。
操作説明は「～をタップする」を「～をタップ」と説明するなど省略している場合があります。

画面表示について

本書で記載している画面表示は説明用に簡略化している箇所もあり、実際の画面表示と異なる場合があります。

ソフトボタンの使いかた

画面下の左右に表示されているコマンドを実行する場合は、直接コマンドをタップするか、対応するソフトボタンを押します。



補　足

- コマンドの表示は、利用する機能によって異なります。

マルチファンクションボタンの使いかた

カーソルを上下左右に移動して、メニューやプログラムを選択します。中央ボタンを押すと、選択したアイテムが実行されます。また、文字の入力時には、カーソルの移動にも使用します。

本書での表記	操作
	上を押すとき
	下を押すとき
	左を押すとき
	右を押すとき
	中央を押すとき

補　足

- 指紋認証時以外で指紋センサをなぞるとマルチファンクションボタンの操作と同じようにカーソルを上下左右に移動できます。また、指紋センサを軽くたたくと選択したアイテムを実行できます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定されること”を示します。

※1　重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	⃠は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	❗は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

⚠危険

分解禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ(オプション品)を分解・改造・修理しないこと

発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（8-15ページ）までご連絡ください。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ(オプション品)を火の中に入れたり、加熱しないこと
また、水にぬれた場合でも加熱用機器(電子レンジなど)で強制的に乾燥させないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ(オプション品)を火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠危険

水ぬれ禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ(オプション品)を水、汗、海水などの液体でぬらさないこと
屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと
また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外してください。また、充電中、水などの液体がかかってしまった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。ぬれた電池パックは充電しないでください。最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（8-15ページ）までご連絡ください。

禁止

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと
また、コード類などを使用して（＋）（－）を逆に接続しないこと
電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。

禁止

電池パックの端子部(金属端子部分)に金属片(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないこと
電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

指示

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電話機の電池パックを充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電池パックが液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちにきれいな水で洗い流すこと
また、目に入った場合はこすらずにきれいな水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けること
機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ること
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたり、失明のおそれがあります。

⚠警告

禁止

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・ビデオ・音楽再生・電話機内蔵のフラッシュライトなど）も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にソフトバンク携帯電話の電源を切ること
また、充電もしないこと
ガスに引火するおそれがあります。

禁止

ストラップ・ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ（オプション品）などを持って振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときやお手入れをするときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

指示

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。

指示

通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠警告

指示

指定の電源・電圧で使用すること
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用AC100～240V

指示

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること
プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。

指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること
また、電源を切って電話機に触れないこと
落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること
発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」(8-15ページ）までご連絡ください。

指示

急速充電器を家庭用ACコンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと
感電・ショート・火災の原因となります。

指示

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

1. 充電中であれば、急速充電器を家庭用ACコンセントから抜いてください。
2. 電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。

そのまま使用（充電）すると、電池パックが発熱･破裂･発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」(8-15ページ）までご連絡ください。

禁止

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

禁止

ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないこと
無理な力がかかるとタッチスクリーンや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

指示

1．植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2．満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3．医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
 ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
 ・病棟内では、電話機の電源を切る
 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
4．医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会)に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

禁止

急速充電器はAC100～240Vの家庭用電源以外では使用しないこと

指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

スタイラスを人に向けないこと

先端があたると、けがや失明の原因となります。

⚠注意

禁止

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと
発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

電話機・電池パック・充電用機器・スタイラス・メモリカード(市販)を幼児の手の届く場所には置かないこと
電池パック・スタイラス・メモリカード（市販）などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

充電用機器の端子（金属部分）に針金などの金属を接触させないこと
発熱・やけどの原因となります。

禁止

急速充電器を家庭用ACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。急速充電器を持って抜いてください。

禁止

急速充電器のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと
感電・故障の原因となります。

禁止

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

禁止

落下して、けがや故障の原因となります。バイブレーター設定中は特に気をつけてください。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと

禁止

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子部にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しになるか、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」までお持ちください。

電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処分してください。

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないこと

禁止

汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

⚠注意

指示

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること
本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質･体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

● 電話機

使用箇所	使用材料／表面処理
外装ケース（タッチスクリーン側、ボタン操作側、ボタン操作側側面、電池カバー）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（タッチスクリーン裏面側（スライド平板部））	ステンレス鋼／フッ素系焼付け塗装処理
電源ボタン、ボリュームボタン、ボタン3、イヤホンマイク端子キャップ（硬質部）、メモリカードスロットカバー（硬質部）、外部接続端子キャップ（硬質部）、電池カバーリリースボタン、ボタン4	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
キーボード、メインボタン（タッチスクリーン下） ※マルチファンクションボタンのリングは「下地:アルミ蒸着メッキ」	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メインカメラパネル、サブカメラパネル	アクリル樹脂
タッチスクリーンパネル	ポリエステルシート／アクリル系ハードコート処理
イヤホンマイク端子キャップ（軟質部）、メモリカードスロットカバー（軟質部）、外部接続端子キャップ（軟質部）	エラストマ樹脂
赤外線ポート	アクリル樹脂
充電ランプレンズ	アクリル樹脂
ストラップ金具	ステンレス鋼
ネジ	鉄／ニッケルメッキ
スライド（レール部）	POM樹脂
スタイラス（先端部、根元部）	POM樹脂
スタイラス（軸部）	ステンレス鋼
指紋センサ（外側部）	エラストマ樹脂
指紋センサ	エポキシ系樹脂・シリコン
ネジカバー	ポリエステルシート

⚠注意

● ステレオイヤホンマイク

使用箇所	使用材料／表面処理
ケース／ボタン	ABS樹脂
クリップ	PC樹脂
ピンプラグ(接続部)	PBT樹脂／金メッキ（下地ニッケル）
コード	スチレン系エラストマー
コネクター部	スチレン系エラストマー
イヤホン外装／イヤホンメッシュ	ABS樹脂

指示

レシーバー・スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること
金属片が耳や手などにささるなどして、けがの原因となります。

指示

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に気をつけること
驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

フラッシュライトを撮影以外に使用しないこと
目がくらむことにより視力障害･けがの原因となります。

禁止

USBケーブルによる充電・急速充電器による充電などの際は、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと
発熱・発火・やけど・故障の原因となります。

指示

ステレオイヤホンマイクの使用中は、音量を上げすぎないこと
また、長時間連続して使用しないこと
大きな音で耳を刺激することによって聴力に悪い影響を与えたり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

禁止

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないこと
発熱・感電・故障の原因となります。
通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

禁止

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと
また、小さなお子様には触らせないこと
カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

禁止

メモリカード（市販）のデータ書き込み･読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと
データ消失・故障の原因となります。

⚠注意

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないこと

禁止

データ消失・故障の原因となります。
記憶容量が2Gバイト（※2007年8月現在）までのメモリカードに対応しています。

ステレオイヤホンマイク・USBケーブル・USBホストアダプタ（オプション品）などを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと

禁止

誤って、首などに巻きつけたりすると、けがの原因となります。

赤外線通信を使用するときは、赤外線ポートを目に向けないこと

禁止

目に影響を与えることがあります。

フラッシュライトの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

禁止

視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないこと

禁止

故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

USIMカードは指定以外のものを使用しないこと

禁止

指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

スライド開閉時に髪の毛や指、充電用機器のコード、ストラップなどを挟み込まないように気をつけること

指示

挟み込んだ状態で無理に外そうとしたり、スライドさせたりすると、傷害や破損の原因となります。

スタイラスを電話機に収納する時やスタイラスを伸縮する時に髪の毛や指などを挟み込まないように気をつけること

指示

傷害や破損の原因となります。

スタイラスは、付属のものを使用すること
また、付属のスタイラスはこの電話機だけに使用すること

指示

付属以外のスタイラスを使用すると、タッチスクリーンの破損や汚濁の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

●この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

●この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。

●この電話機は電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。

●この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。従って、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。

●デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。

●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・電池の充電量がなくなった(放電しきった)とき
・故障したり、修理に出したとき

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。

●メモリカード(市販)をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

●携帯電話を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では携帯電話が熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

●海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国(キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア)に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

●補聴器をお使いでこの電話機をご使用する場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

●暗証番号(PIN)などのパスワードを忘れた場合は、セキュリティ上保存されているデータを復活させることはできませんので、あらかじめご了承ください。
●電話機本体のメモリ残量が少なくなった場合、使用率の低いアプリケーションから強制終了されます。作成中のデータが保存されない場合がありますので定期的に保存しておいてください。
●本機を修理や交換などに出される際は、携帯電話に保存してあるお客様のデータをあらかじめ消去していただくようお願いいたします。なお、修理の際に、連絡先や保存されているデータ、各種設定は初期化されますのでご了承ください。

自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

航空機内でのご使用について

●航空機内では、ご使用にならないでください。
電源も入れないでください。航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

お取り扱いについて

●この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
●この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
●電話機やタッチスクリーンのお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホンマイクなどは防水仕様ではありません。
●電池パックを取り外す際は、電源を切ってしばらくしてから取り外してください。故障の原因となります。
●電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処分してください。

Li-ion

●液晶ディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
●指紋センサは、時々乾いた柔らかい布で清掃してください。指紋センサが汚れていたり表面に水分やゴミが付着していたりすると、正しく指紋の読み取りができない場合があります。
●ステレオイヤホンマイクのプラグは、イヤホンマイク端子にしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
●ステレオイヤホンマイクなどをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
●通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
●ステレオイヤホンマイクなどを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
●この電話機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-2ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
●機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●USIM カードの取り扱いについては、ご使用前にUSIM カードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
次のような取り扱いは故障の原因になりますので、お止めください。
・落としたり、強い衝撃を与えない。
・曲げたり、重いものを載せたりしない。
・濡らさない、湿気の多い場所に置かない。
・火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用および放置しない。
・保管する際、直射日光や高温多湿な場所に放置しない。
保管は乳幼児の手の届かない場所にする（誤って飲み込んだり、けがの原因になります）。

機能制限について

●解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、カメラ、Wi-Fi、メモリカードに保存されているファイルがご利用できなくなることがあります。

カメラ機能について

●カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
●カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
●大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
●カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
●撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

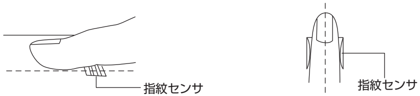
フラッシュライトについて

●高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。フラッシュライトの寿命が短くなることがあります。
●フラッシュライトには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

指紋センサと指紋認証について

1.指紋認証とは
指紋認証とは、手の指紋の情報を電話機に登録することにより、パスワードの入力に代わって本人であることを証明する機能です。あらかじめ手の指紋の情報を電話機に登録しておけば、登録した指を指紋センサ上にすべらせるだけで、パスワードの解除が行えます。
2.指紋センサの取り扱い上の注意
指紋センサは非常に高度な技術で作られていますので、次のことに注意してご使用ください。特に指紋センサ表面のお取り扱いには十分ご注意ください。
● 次のようなお取り扱いは故障の原因となります。
・指紋センサ表面を爪などの硬いものでこすったりひっかいたりする。
・指紋センサ表面を強く押す。
・濡れた手で指紋センサ表面を触る。
・化粧品や薬品、砂や泥などの付いた手で指紋センサ表面を触る。
・指紋センサ表面にシールなどをはる。
・指紋センサ表面を静電気を帯びた手や布などで触る。

3.指紋センサをご使用になるにあたり
● 指紋センサをご使用になるときには、次のことにご注意ください。
・手が汚れている場合には手を洗い、完全に水分をふき取ってからお使いください。
・金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてからお使いください。特に空気が乾燥する冬場にはご注意ください。
● 指紋を登録する場合には、認識率向上のために次のことをお守りください。
・けがをしている指では登録しない。
・指がふやけた状態では登録しない。
・手が荒れた状態では登録しない。
・指が汚れた状態では登録しない。
(指紋の間の汚れや異物を取り除いた状態で登録してください。)
● 認識率が低下したと感じたら、次のことを確認してください。
・指紋センサの表面が汚れていないか、ご確認ください。汚れている場合は、眼鏡ふき(クリーナークロス)などの柔らかい布で軽くふき取ってからお使いください。指紋センサ表面を強くこすらないでください。故障するおそれがあります。
・指の状態をご確認ください。傷や手荒れ、極端に乾燥した状態、ふやけた状態など、指紋の登録時と異なると認識できないおそれがあります。認識率が改善されない場合は、他の指での再登録をおすすめします。
・指の置きかたに注意してください。
指と指紋センサが並行になるように指を置く。
指紋センサと指の中央を合わせる。
指紋センサの上に第一関節が来るように置く。



・指をスライドするときは、一定の速さでゆっくりとスライドしてください。それでも認識されない場合は、指をスライドする速さを調整してください。

● その他

・手の指紋の認識率には、個人差があります。

・指紋認証技術は、データやハードウェアの完璧な保護を保証するものではありません。本機能を利用したことにより生じた障害や損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

Bluetooth® 機能／ Wi-Fi 機能（ワイヤレス LAN）について

Bluetooth®機能やWi-Fi機能(ワイヤレスLAN)を利用するとパソコンやPDAなどの周辺機器と、連絡先や予定表などのファイルの送受信が可能になります。またハンズフリー対応機器がご利用できます。

Bluetooth®機能／ Wi-Fi機能（ワイヤレスLAN）通信をご利用になる前に

1.取り扱いについて

● Bluetooth®やワイヤレスLAN対応機器が使用する2.4GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth®やワイヤレスLAN対応機器は同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

● 通信速度や通信距離は、通信機器間の距離や障害物、電波状況などにより異なります。

2.Bluetooth®機能の主な仕様

対応バージョン	Bluetooth® 標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class2
対応プロファイル※2	GAP (汎用アクセスプロファイル) SPP (シリアルポートプロファイル) HSP (ヘッドセットプロファイル) HFP (ハンズフリープロファイル) AVRCP (オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル) A2DP (アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル)

※1 本機およびすべてのBluetooth® 機能搭載機器は、Bluetooth® SIGが定めている方法でBluetooth® 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth® の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

3.Wi-Fi機能(ワイヤレスLAN)の仕様

ワイヤレスLANは、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠する無線ネットワークです。

●IEEE802.11gでは「直交周波数分割多重方式」(Orthogonal Frequency Division Multiplexing,OFDM)、IEEE802.11bでは「直接拡散方式」(Direct Sequence Spread Spectrum,DSSS)を採用し、IEEE802.11に準拠する他社のワイヤレスLANシステムと完全な互換性を持っています。

●Wi-Fi Alliance認定のWi-Fi(Wireless Fidelity)ロゴを取得しています。
Wi-Fiロゴは、IEEE802.11に準拠する他社のワイヤレスLAN製品との通信が可能な無線機器であることを意味します。

4.周波数について

本機のBluetooth®機能及びWi-Fi機能は、2.4GHz帯の周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)について**お問い合わせ先**（8-15ページ）へご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

●Bluetooth®機能●

2.4FH1	本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

●Wi-Fi機能●

2.4DS/OF4	本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

Bluetooth®機能／Wi-Fi機能（ワイヤレスLAN）における通信利用時のご注意

- 本機はすべてのBluetooth®・ワイヤレスLAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・ワイヤレスLAN対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・ワイヤレスLANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・ワイヤレスLANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®・ワイヤレスLAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®・ワイヤレスLAN通信を利用してファイルの送受信を行っているときに音声/ TVコールの着信があった場合は、着信音が鳴動します。着信に応答するとファイルの送受信は中止します。
- Bluetooth®・ワイヤレスLAN通信を利用中は、赤外線通信や充電機能以外のUSBの機能は利用できません。
- Bluetooth®とワイヤレスLANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、ワイヤレスLANのいずれかの使用を中止してください。
- ワイヤレスLANを使用して通信を行う場合、セキュリティ機能を使用しないと、ワイヤレスLAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。
  不正アクセスを防ぐために、ネットワーク名(SSID)の設定や、暗号化機能(WEP、WPA)を設定されることを強くおすすめします。また、お使いのワイヤレスLANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。
- ワイヤレスLANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本機を手や布団などで覆わないでください。また、本機とワイヤレスLANアクセスポイントの間に金属性の箱や壁などがあると、通信が遮断される場合がありますので、そのような場所はできるだけ避けてご利用ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

　株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。）が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1．使用許諾
　東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2．著作権
　本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3．リバースエンジニアリング
　お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4．保証
　本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5．責任の限定
　東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。
　また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録された情報内容（アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6．準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7．輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8．第三者ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

商標・特許

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more the following United States Patents and／or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,778,338	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261
5,568,483	5,414,796	5,659,569
5,056,109	5,506,865	5,228,054
5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784		

Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

miniSDは商標です。

Bluetooth® は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

TV コール、S! メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

本製品は Adobe Systems Incorporated が開発した Adobe® Flash® player テクノロジーを搭載しています。Adobe、Flash は Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Mobile Client Suite を搭載しています。

ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront® Mobile Client Suite

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Outlook、PowerPoint、Excel、Windows Mobile、Windows Media、Internet Explorer、ActiveSyncは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
Windows XP は、Microsoft Windows XP Professional operating system、または Microsoft Windows XP Home Edition operating system の略です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CE0682

Safety Precautions

- Read Safety Precautions before using handset. After reading this manual, retain it for future reference.
- Observe precautions in user manuals and on the product to prevent injury to yourself and others, or damage to property.
- If your child is the user, read the instruction manuals and provide proper instructions.
- The following describes the meanings of safety symbols and signal words. Be sure to understand their meanings before proceeding to read this manual.

Pictographs

Pictograph	Description
⚠ Danger	Indicates an imminently hazardous operation that could result in death or serious injury[1] to the user.
⚠ Warning	Indicates a potentially hazardous operation that could result in death or serious injury[1] to the user.
⚠ Caution	Indicates a potentially hazardous operation that could result in minor or moderate injury[2] to the user or damage to property[3].

1 Injuries requiring hospitalization or long-term medical treatment including: Sight loss, wounds, high temperature burns, low temperature burns (burns caused by prolonged skin contact at low temperatures), electric shock, fractures, and poisoning.

2 Injuries not requiring hospitalization or long-term medical treatment including: wounds, burns and electric shock.

3 Property damage includes: extensive damage to homes, household property and livestock/pets.

Symbols

Symbol	Description
⃠ Prohibited	⃠ indicates a prohibited action that must not be carried out. The prohibited action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.
❗ Compulsory	❗ indicates a compulsory action that must be carried out. The compulsory action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.

Limitation of Liability

- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from natural disasters such as earthquakes, lightning, storms and floods, as well as fires through no fault of SoftBank and Toshiba, acts by third parties, other accidents, improper use by the user, whether intentionally or negligently, or use under other abnormal conditions.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for incidental damages arising out of the use or inability to use the product, including, but not limited to, corruption or loss of data, lost business revenue or suspension of business operations.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from improper use not conforming to the instructions in the instruction manuals.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from malfunctions caused by use in combination with connection equipment or software that is not authorized for use by SoftBank and Toshiba.
- Image data recorded with the camera, downloaded data and other data may be corrupted or lost due to malfunction, repair or other improper handling of the product. SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for the restoration of corrupted or lost data, as well as any damages or lost revenue and profits.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for corruption or loss of stored data resulting from failures or malfunctions of the product, regardless of the cause. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.

⚠ Danger

No disassembly

Do not disassemble, modify or repair the handset, battery pack, charger, stereo earphone microphone, USB cable or USB host adapter (option)

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock, injury or malfunction. Modification of the handset is prohibited by Japanese Radio Law. For repair, contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 8-15).

No flames

Do not dispose of the handset, battery pack, charger, stereo earphone microphone, USB cable, or USB host adapter (option) in a fire or expose it to heat
If it is exposed to water, do not dry it artificially in heating equipment (microwave oven, etc.)

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

No flames

Do not charge, use or leave the handset, battery pack, charger, stereo earphone microphone, USB cable, or USB host adapter (option) in hot places such as near a fire or heater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

⚠ Danger

Keep water away

Do not expose the handset, battery pack, charger, stereo earphone microphone, USB cable, or USB host adapter (option) to fluids such as water, perspiration or seawater
Do not leave it outdoors, in a bathroom or wherever water or any other fluid is used, or place it near cups, vases or other containers of fluids
Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or malfunction. If the handset is dropped accidentally in water or any other fluid, turn off the handset and remove the battery pack immediately. Furthermore, if the handset is exposed to water or any other fluid during charging, remove the power plug immediately. Do not charge a wet battery pack. Contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 8-15).

Prohibited

Do not use excessive force when inserting battery pack into handset or connecting handset to charger
Do not connect any cords with reverse polarity
Doing so may cause the battery pack to leak, rupture, overheat or catch fire, as well as cause an electric shock or malfunction.

Prohibited

Do not touch the battery pack connectors (metal parts) with any metal objects (necklace, hairpin, etc.)
Doing so may short-circuit the battery pack, which may cause overheating, rupturing or fire, as well as the metal object to become hot.

Compulsory

Do not use a battery pack other than one supplied with or designated for the handset
Do not use the battery pack for any other handset
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

Do not use a charger other than one supplied with or designated for the handset to charge the battery pack
Do not use the charger to charge the battery pack of any other handset
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

If electrolyte fluid leaking from the battery pack comes into contact with your skin or clothes, wash it off with clean water immediately as it may cause an injury
And if it gets into your eyes, do not rub them, wash them with clean water, and then have them treated immediately by an ophthalmologist
If fluid contacts equipment, wipe equipment taking care not to touch the fluid
If the fluid is left as is, your skin may become irritated or you may lose your eyesight.

⚠ Warning

Prohibited

Do not use handset features (calls, messaging, games, camera, etc.) while driving

Doing so may cause a traffic accident. Use of the handset while driving is prohibited by law. Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking is permitted.

Compulsory

Always turn off the handset before entering areas such as gas stations where flammable gas is generated, and do not charge the battery in such areas

Otherwise, the gas fumes may ignite.

Prohibited

Do not swing handset by its strap, stereo earphone microphone, USB cable, USB host adapter (option), etc.

Doing so may cause an injury, accident or damage.

Compulsory

Turn handset off near precision electronic equipment

Radio waves may affect equipment such as cardiac pacemakers, hearing aids, fire alarms and automatic doors. If you use medical electronic equipment, consult the equipment manufacturer or distributor about radio wave.

Unplug power cable

Remove the power plug from the outlet if the charger is not to be used for a long period of time or before cleaning

Failing to do so may cause an electric shock, fire or malfunction.

Compulsory

Turn handset off aboard an aircraft or wherever use is prohibited

Radio waves may adversely affect the operation of, for example, electronic equipment, resulting in an accident. Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Compulsory

Check your surroundings to confirm that it is safe to make/receive calls, send/receive messages, take pictures or record videos

Failing to do so may cause you to trip over or cause a traffic accident.

⚠ Warning

Compulsory

Do not use charger at unspecified power voltages

Doing so may cause a fire.

Specified voltage: 100 to 240 V AC

Compulsory

If there is any dust on the plug of the charger, remove it from the outlet and then wipe off the dust with a dry cloth

Dust accumulation may cause fire.

Compulsory

When thunder is heard outside, stop using the handset immediately

And turn off the handset and do not touch it

Failing to do so may attract lightning and cause an electric shock. When thunder is heard, stop using the handset and move to a safe place such as inside a building.

Compulsory

Stop charging if charging does not complete after the specified time

Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire. Contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 8-15).

Compulsory

When inserting the plug of the charger into an AC household outlet, make sure a metal strap or any other metal object does not touch the plug

Failing to do so may cause an electric shock, short circuit or fire.

⚠ Warning

Compulsory

If handset emits smoke, unusual odor, or is damaged, stop using battery pack/charger and observe the following:

1. If charging, unplug charger from AC outlet.
2. Confirm that handset is not hot, turn power off then remove battery pack.

Continued charging may cause battery pack to overheat, rupture, ignite or handset to overheat. If something unusual happens, contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 8-15).

Prohibited

Do not drop handset/battery pack or subject to excessive shock

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Prohibited

Do not sit down with handset in trouser pocket

Excess weight may damage the touch screen, battery pack or other parts, resulting in overheating, fire or injury.

Compulsory

If the handset is used near an implanted cardiac pacemaker, defibrillator or other electronic medical device or equipment, radio waves may interfere with the device or equipment, so be sure to observe the following guidelines

1. Persons with implanted cardiac pacemaker/defibrillator, should keep handset at least 22 centimeters away from the device.
2. Turn off handset in crowded places such as crowded trains. Persons with implanted cardiac pacemakers/defibrillators may be nearby. Radio waves may interfere with these devices.
3. In medical institutions:
   - Do not bring handset into operating rooms, intensive care units or coronary care units.
   - Turn off handset in a hospital ward.
   - Turn off handset in lobbies or other areas close to medical equipment.
   - Observe medical institution's rules on handset usage. Do not use/bring handset where prohibited.
4. When using an electronic medical device other than an implanted cardiac pacemaker or defibrillator outside of medical institutions(such as at home), consult with the individual medical device manufacturer about the possible influence of radio waves.

⚠ Warning

The above information conforms to "The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to "The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Prohibited

Do not use the charger with other than a 100 to 240 V AC household power supply

Doing so may result in a fire, as well as cause the charger to overheat, catch fire or malfunction.

Prohibited

Do not point the stylus at anyone

Poking someone with the tip of the stylus may cause injuries or loss of sight.

⚠ Caution

Prohibited

Do not use or leave the handset or battery pack in places where it will be exposed to direct sunlight or in hot places such as inside a car in the sun

Doing so may cause overheating, fire or malfunction.

Prohibited

Keep handset, battery pack, charger, stylus and memory cards away from infants

Failing to do so may result in the battery pack, stylus, or memory card (commercially available) being accidentally swallowed, or cause an injury.

Prohibited

Keep metal objects or wires away from charger terminals

Failing to do so may cause overheating or burns.

Prohibited

Do not unplug charger by the cord

Doing so may damage the cord, resulting in an electric shock, overheating or fire. Hold the charger when removing the cord.

Prohibited

Do not pull, bend with excessive force or twist the cord of the charger

Do not damage, modify or place objects on the cord, or apply heat or place it near a heater

Doing so may damage the cord, resulting in an electric shock, overheating or fire.

No wet hands

Do not plug/unplug charger with wet hands

Doing so may cause an electric shock or malfunction.

Prohibited

Keep magnetic cards away from the handset and make sure a magnetic card is not trapped when closing the handset

Failing to do so may cause the magnetic data on, for instance, a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.

Prohibited

Do not use handset inside vehicles if the in-vehicle devices are affected

Handset use may affect in-vehicle devices and interfere with safe driving.

⚠ Caution

Prohibited

Do not place handset on unstable/unlevel surfaces

Doing so may result in the handset falling and causing injury or malfunction. Be particularly careful when vibration is set.

Prohibited

Do not dispose of a used battery pack with ordinary garbage

Insulate connectors with tape and dispose of the used battery pack separately from ordinary garbage or take it to your nearest SoftBank Shop.

Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Prohibited

Do not touch handset with sweaty hands or place in pockets of sweaty clothing

Sweat and humidity may erode the internal components of the handset and cause overheating or malfunction.

⚠ Caution

If your skin becomes irritated, stop using the handset immediately and consult with a dermatologist

Compulsory

The following materials and surface treatments have been used for the handset. Some of these materials may cause itching, irritation, eczema, etc. in some rare cases depending on the individual's constitution and physical condition.

・ Handset

Part	Material (Surface Treatment)
Outer housing (touch screen side, keypad side, side surface of keypad side, and battery cover)	PC resin (UV cured acrylic coating)
Outer housing (rear of touch screen [sliding flat plate portion])	Stainless steel (fluorine baking coating)
Power key, Side key, Program button 3, Earphone Microphone Jack Cap (hard portion), Memory Card Slot Cover (hard portion), External Connection Terminal Cap (hard portion), battery cover release button, Program button 4	PC resin (UV cured acrylic coating)
Keyboard, Keypad (Main Keys) *Aluminum vapor plating is used for the undercoat of the ring portion of the navigation key.	PC resin (UV cured acrylic coating)
Main camera Panel, Sub camera Panel	Acrylic resin
Touch Screen	Polyester sheet (acrylic hard coating)
Earphone Microphone Jack Cap (soft portion), Memory Card Slot Cover (soft portion), External Connection Terminal Cap (soft portion)	Elastomer resin
Infrared Port	Acrylic resin
Charging indicator lens	Acrylic resin
Strap Hole	Stainless steel
Screws	Steel (nickel coating)
Slider (rail portion)	POM resin
Stylus (tip and end portions)	POM resin
Stylus (shaft portion)	Stainless steel
Fingerprint Sensor (exterior portion)	Elastomer resin
Fingerprint Sensor	Epoxy resin and silicon
Screw covers	Polyester sheet

⚠ Caution

・Stereo Earphone Microphone

Part	Material (Surface Treatment)
Case, Buttons	ABS resin
Clip	PC resin
Pin plug (connecting end)	PBT resin, gold plating (nickel undercoat)
Cord	Styrene elastomer
Connector	Styrene elastomer
Earphone Exterior and Mesh	ABS resin

⚠ Caution

Compulsory

Before using the handset, make sure no metal objects (such as pins) are stuck to the earpiece and speakers

Failing to do so may cause an injury as a result of a metal object sticking in an ear, hand or other body part.

Compulsory

If you have a weak heart, be careful with the call vibration and ringtone volume settings

Failing to do so may cause you to be startled and may be harmful to your heart.

Prohibited

Do not use the flash light for purposes other than taking pictures and recording videos

Doing so may dazzle the eyes and cause impaired vision or other injury.

Prohibited

Make sure things like paper, cloth and bedding are not placed on the handset during charging using a USB connection, charger, etc.

Failing to do so may cause overheating, fire, burns or malfunction.

Compulsory

Do not turn the volume up too high while using the stereo earphone microphone

Do not use the stereo earphone microphone continuously for long periods of time

Exposure to high sound levels may impair hearing and prolonged use may cause hearing defects regardless of the volume level. Sound leakage may annoy other people and surrounding sounds may not be heard clearly resulting in an accident.

Prohibited

Do not insert objects other than a memory card (commercially available) into the memory card slot

Doing so may cause overheating, electric shock or malfunction. Cover the slot with the cap at times other than when you are inserting or removing a memory card.

Prohibited

Keep your face away from the memory card slot when inserting or removing a memory card (commercially available)

Keep a memory card out of the reach of small children

If the memory card is let go of suddenly, it may fly out and hit your face, resulting in injury.

⚠ Caution

Prohibited

Do not subject a memory card (commercially available) to vibration or shock or remove it from the slot or turn off the handset while data is being written to or read from the memory card

Doing so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Use only a memory card (commercially available) supported by the handset

Failing to do so may cause data loss or malfunction. The handset supports memory cards with a storage capacity of up to 2 GB (as of 8, 2007).

Prohibited

Do not let children use cables such as the stereo earphone microphone, USB cable, and USB host adapter (option) unsupervised, and keep cables out of the reach of infants

An injury may be caused if, for instance, the cable is wrapped around a neck.

Prohibited

Do not point the infrared port at anyone's eye during infrared communication

Doing so may cause eye damage.

Prohibited

Do not use the light emitting part of the flash light close to anyone's eyes

Doing so may cause eye damage. Be especially careful not to take pictures or record videos with the flash light too close to the eyes of infants.

Prohibited

Do not use excessive force when inserting or removing the USIM card

Doing so may cause a malfunction. Be careful not to injure a hand or finger when removing the card.

Prohibited

Use only a USIM card designated for the handset

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

Compulsory

Be careful not to trap things such as your hair or finger or the charger cord or hand strap when opening and closing the slider

Using excessive force to remove a trapped object or sliding the slider while something is trapped may cause an injury or malfunction.

Compulsory

Be careful not trap things such as your hair or finger when inserting the stylus in the handset or extending and retracting the stylus

Failing to do so may cause an injury or malfunction.

Compulsory

Do not use a stylus other than the one supplied with the handset

Do not use the stylus for any other handset

Using other than supplied stylus may cause the touch screen to become damaged or dirty.

FCC notice

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

Your Toshiba phone is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.497W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.178W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http:// www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID SP2-RG4-J01.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

TOSHIBA

TOSHIBA INFORMATION SYSTEMS (U.K.) LTD
MOBILE COMMUNICATIONS DIVISION
Watchmoor Park, Riverside Way, Camberley, Surrey GU15 3YA
Tel: +44 (0)1276 405100 Fax: +44 (0)1276 405111

DECLARATION OF CONFORMITY

We, **Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division**

of **Toshiba Court**
Weybridge Business Park
Addlestone Road
Weybridge
KT15 2UL

declare under our sole responsibility that the product

X01T
Type (Model) Name is RG4 – J01
UMTS & GSM/DCS/PCS Terminal (Tri band 900, 1800 & 1900)

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

3GPP TS 51.010-1, 3GPP TS 34.121, EN 301 489-1, EN 301 489-7, EN 301-489-24, EN 300 328, EN 301 489-17, EN 60950 and EN 50360

We hereby declare that all essential radio test suites, EMC & safety requirements have been carried out and that the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10(5) and detailed in Annex IV of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

Cetecom GmbH, Im Teelbuch 122, 45219 Essen, Germany

Identification mark: **0682 ⓘ**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division
Riverside Way, Camberley, Surrey, GU15 3YA

Name:- Takashi Okamoto

Title:- Deputy Managing Director of TIU
General Manager Mobile Communications Division

Signature:- Takashi Okamoto **Date:-** 24. May 2007

INVESTOR IN PEOPLE

Registered Office: Toshiba Court, Weybridge Business Park, Addlestone Road, Weybridge, Surrey KT15 2UL
Registered Number: 918861 England. Telephone (Switchboard) 01932 841600 Facsimile 01932 852455
www.toshiba.co.uk

REGISTERED FIRM FS14787

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種X01Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※ の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機X01Tも、電波法に定める工事設計認証を受けており、X01TのSARは0.344W/kgです。この値は、テュフ ラインランド ジャパン株式会社(登録証明機関) /財団法人テレコムエンジニアリングセンター (測定機関)によって取得されたもので、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html
ソフトバンクのホームページ
http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html
東芝のホームページ
http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/
※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ (身体)SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR)のことです。
＊＊比吸収率(SAR)：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合はX01Tでは1.178W/kgです。

身体装着の場合:携帯電話機X01Tでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)のホームページ
http://www.phonefacts.net.(英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

携帯電話機X01Tは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで身体に装着した場合のSARはX01Tでは1.154W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/emf)(英文のみ)

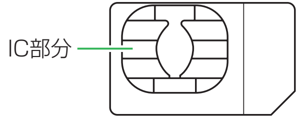
＊身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

USIM カードのお取り扱い

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に挿入してご使用ください。

USIM カードをご利用になる前に

●本機のご利用にはUSIMカードが必要です。
●USIMカードには連絡先のみ保存できます（本機では、USIMカードにSMSを保存することはできません）。
※SMSが保存されたUSIMカード（本機以外のソフトバンク携帯電話で、SMSをUSIMカードに保存）を本機に挿入しても、本機ではSMSの内容が正しく表示されない場合があります。
●USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話にもご利用いただけます。
●他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
●USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
●USIMカードに関するその他の内容については、USIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

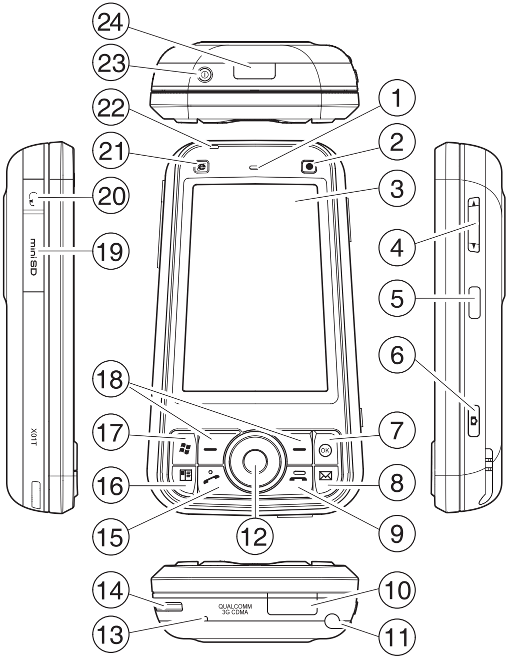


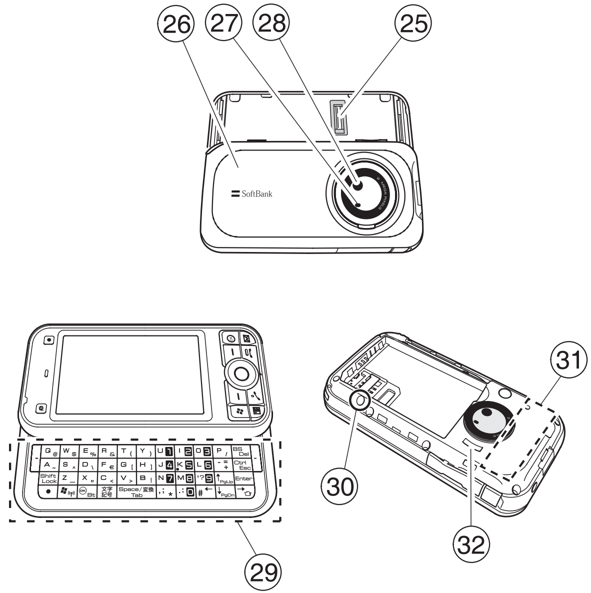
USIMカードについてのご注意

●USIMカードの所有権は当社に帰属します。
●紛失･破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
●解約の際は、USIMカードを当社にご返却ください。
●お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
●USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
●お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えを取っておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●USIMカードやソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体


24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
miniSD
X01T
QUALCOMM
3G CDMA


26
27
28
25
SoftBank
31
30
32
29

1 **レシーバー（受話口）**
2 **サブカメラ**：TVコールなどに使用します。
3 **タッチスクリーン**：スタイラスで画面をタップして文字を書いたり、描画やコマンドの選択に使用します。
4 **ボリュームボタン**：音量の調節に使用します。
5 **赤外線ポート**：赤外線を使ってファイルやデータを交換することができます。
6 **ボタン3**：ボタンを長く（約2秒以上）押すと、カメラを起動します。
7 **OKボタン**：データ入力を確認したり、使用中のプログラムを終了したりします。
8 **ボタン2**：メールを開きます。
9 **終了ボタン**：通話を終了します。またはToday画面に戻ります。
10 **外部接続端子**：急速充電器やUSBケーブルを接続するときに使用します。
11 **スタイラス**：スタイラスは文字を書いたり、描画したり、アイテムを選択するときに使用します。
12 **マルチファンクションボタン**：カーソルを上下左右に移動して、メニューやプログラムを選択します。中央のボタンを押すと、選択したアイテムが実行されます。
13 **マイク（送話口）**：通話中やビデオの撮影中はマイクを指などで覆わないようご注意ください。
14 **ストラップ取り付け穴**
15 **通話ボタン**：電話をかけるときや受けるときに使用します。
16 **ボタン1**：連絡先を表示します。
17 **スタートボタン**：スタートメニューを表示します。Today画面の「**スタート**」をタップした状態と同じになります。
18 **ソフトボタン**：画面下の左右に表示されているコマンドを実行する場合は、対応する左右のソフトボタンを押します。
19 **メモリカードスロット**：メモリカードを差し込みます。
20 **イヤホンマイク端子**：ステレオイヤホンマイクを差し込みます。
21 **ボタン4**：Internet Explorerを起動します。
22 **充電ランプ**:充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
23 **電源ボタン**：ボタンを短く押すと、画面が一時的にオフになります。このとき本機はスリープモードになっています。ボタンを長く（約4秒以上）押すと、完全に電源を切ることができます。本機がスリープモードになっていても、電話に応答したり、メッセージを受信したりすることは可能です。完全に電源を切ってしまうと、電話を含めたすべての機能が使用できなくなります。
24 **電池カバーリリースボタン**：ボタンを押すと、電池カバーを外すことができます。
25 **指紋センサ**：FingerLauncher機能で使用します。
26 **電池カバー**
27 **フラッシュライト**:カメラ撮影時のライトとして使用します。
28 **メインカメラ**:画像やビデオを撮影するときに使用します。
29 **キーボード**：詳しくは4-1ページを参照してください。
30 **リセットボタン**：スタイラスでこのボタンを押すと、本機をリセットします。リセットすると、作成中の文書や操作中の設定が失われることがあります。
31 **内蔵アンテナ部分**：本機の通信用アンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ部分を手で触れたり覆ったりすると、電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。

32 スピーカー

※6、8、16、21のボタンは「**プログラムの割り当て**」の機能で他のプログラムやショートカットを割り当てることができます（5-1ページ）。

アイコン



① **通知アイコン**

- **不在着信あり**
- **新着メール／ボイスメール（留守番電話）**
- **ボイスメールのSMS通知**
- **新着簡易メッセージ**
- **ビーム通信**
- **Wi-Fi検出**
  ワイヤレスネットワークが検出された場合にアイコンが表示されます。
- **スピーカーフォン オン**

- 重複通知
  通知の内容が重複（アラームと不在着信など）した場合、あとに通知されたアイコンが表示された数秒後に重複通知アイコンが表示されます。
- アラーム

② ローミングアイコン
- ローミング中
- GPRS使用中
- EDGE使用中
- 3G使用中

③ データアイコン
- データ通信オフ
- USB接続中
- GPRS接続中
- 3G接続中
- EDGE接続中
- Wi-Fi 利用可能
- Wi-Fi 接続中
- ActiveSync接続中

④ 電波アイコン
- 電波状態表示
- 音声／TVコール通話中
- データ通信接続中
- 3G（パケット）使用中
- 電話機能オフ
- 電話サービス利用不可
  ネットワークに接続されていない場合にアイコンが表示されます。
- 電話サービス圏外
- 電話サービス検索中
  電波を探索している場合にアイコンが表示されます。
- USIMカード無し状態の通話中
- 通話保留
- USIMカード未挿入

⑤ 音量アイコン
- マナーモード
- スピーカーオフ
- スピーカーオン

⑥ 電池レベルアイコン
電池レベルアイコンはToday画面のみに表示されます。
- 電池が十分残っています
- 電池が残りわずかです
- 外部電源使用中
- 充電してください

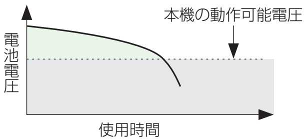
電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

電池パックについて

- 本機の電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。使用時間にともなって下図のように徐々に電圧が下がる性質があります。



- 高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下や低温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
- 低温下での充電は、十分な性能が得られません。充電は5℃～35℃の場所で行ってください。
- 電池パック単体で保管する場合は、電池パックの端子部がショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。
- 利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックは、端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処分してください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

電池の消耗について

- 電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。
- 電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、フラッシュライトの利用、Wi-Fi機能やBluetooth®機能などの利用時は、電池の消耗が多くなります。

電池レベルについて

- 画面の電池レベル表示（1-5ページ）は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。電池切れ「」になるとメッセージや電池アラーム音でお知らせします。

充電を行うときは

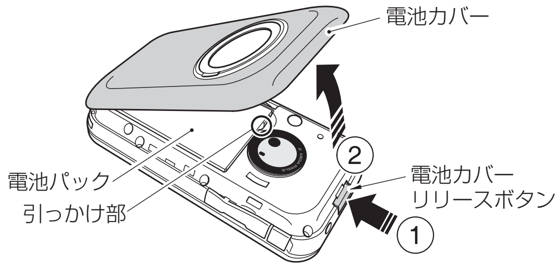
- 電池パック単体では充電できません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。また、指定の急速充電器を使用してください。
- 電池パックの端子部、外部接続端子などを時々乾いた布などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- うまく充電できない場合は、充電端子、電池パックの端子部、外部接続端子などを乾いた綿棒などで清掃し、セットし直し

てください。それでも充電できない場合は、直ちに充電を中止し、最寄りの**ソフトバンクショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

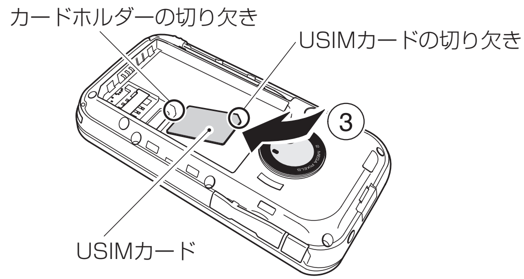
- 湿気の多いところでは充電しないでください。
- 電源を入れたまま充電ができます。
- 電源を入れて外部電源を取り付けている場合は、画面上に「[icon]」が表示されます。
- 充電中は本機や急速充電器などが温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。
- 充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信と同様に着信音やバイブでお知らせします。

USIM カード／電池パックの取り付け

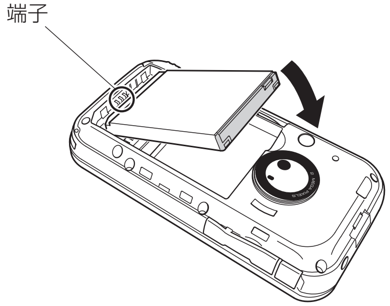
・電池カバーリリースボタンを押しながら①、電池カバーを持ち上げ取り外す②、電池パックの引っかけ部を持って、電池パックを取り出します。



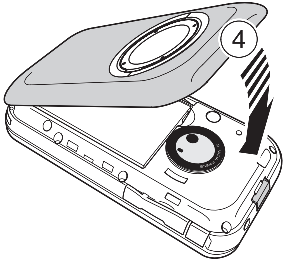
・USIMカードのIC部分を下に向け、カードホルダーの切り欠きとUSIMカードの切り欠きが合うようにセットし、USIMカードを下に軽く押した状態でスライドさせ挿入します③。



・図のようにして端子のついている方を下にして、電池パックを軽く押して挿入します。



・電池カバーを取り付けます④。



重　要

- USIMカードを取り扱う際には、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、無理に挿入したり取り出そうとすると、USIMカードが変形し破損の原因となります。
- 取り出したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。
- 電池パックを取り外す際は、電源を切ってしばらくしてから取り外してください。故障の原因となります。

PIN コードについて

USIMカードには、PIN1 ／ PIN2コードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

PIN1 コード

PIN1コードとは、第三者によるUSIMカードの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。「**暗証番号（PIN1コード）を設定する**」（5-2ページ）で「**電話使用時に暗証番号（PIN）を要求**」にしている場合は、電話をかける時にPIN1コードを入力しないと電話をかけることができません。PIN1コードは変更できます（5-2ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PIN2 コード

PIN2コードとは、USIMカード内に保存されているデータを変更する場合に使用する4～8桁の暗証番号です。PIN2コードは変更できます（5-7ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PIN ロック解除コード（PUK コード）

PINロック解除コード（PUK ／ PUK2コード）とは、PIN1 ／ PIN2ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。間違ったPIN1 ／ PIN2コードを3回続けて入力すると、PIN1 ／ PIN2ロック状態になります。PINロック解除コードは、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

重　要

- 間違ったPINロック解除コードを10回続けて入力すると、USIMカードがロックされます。USIMカードがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありません。**お問い合わせ先**(8-15ページ)までご連絡ください。

補　足

- PIN1／PIN2コード以外にも他のデバイスと接続するときに、PINコードを入力する場合があります(例：Teleport(7-30ページ))。他のデバイスと接続する際は、PIN1／PIN2コードではなく、本機と他のデバイスで同じコードを入力します。お間違えの無いようご注意ください。

電池パックを充電する

急速充電器を利用して充電する場合

充電時間	約280分

1 本機に急速充電器のコネクターを取り付ける

2 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜く

4 本機から急速充電器のコネクターを抜く

USB ケーブルを利用して充電する場合

充電時間	約280分

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

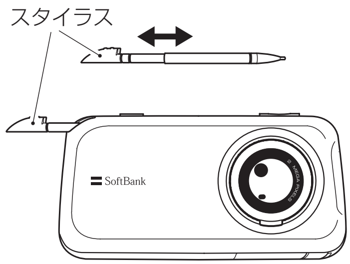
● USB 接続する前にパソコンの電源が入っていることを確認してください。

補　足

- 本機とパソコンを接続した際、パソコンの画面に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示された場合は、同梱の「お使いになる前にディスク」にある「ActiveSync」をインストールしてください。
- 電池パックの状態の確認については「パワーマネージメント」を参照してください。

スタイラスの取り出し／収納

スタイラスは、スタイラスホルダーから真っすぐ、取り出して（収納して）ください。
スタイラスは伸縮します。スタイラスを使用するときは、伸ばしてください。



スタイラスの使いかた

スタイラスはタッチスクリーンにあるメニューを選択したり、データを入力するときに使います。

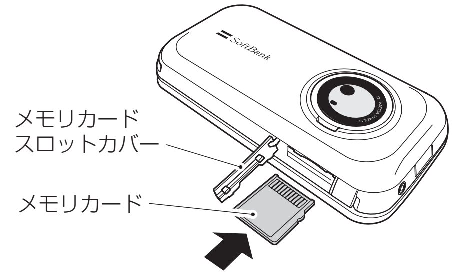
- **タップ**：タッチスクリーンを軽く一回タッチする操作です。表示されているアイテムを開いたり、オプションの選択で使います。
- **ドラッグ**：タッチスクリーン上をスタイラスで引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンの移動や、手書き入力のときこの操作をします。
- **タップアンドホールド**：タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上の項目をタップアンドホールドするとポップアップメニューが表示されます。

重　要

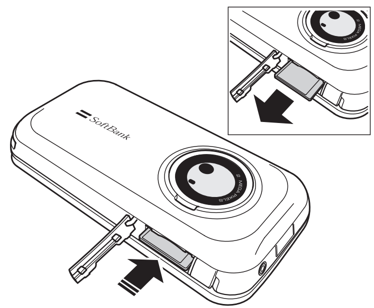
- タッチスクリーンを操作するときは付属のスタイラス、もしくは指を使用してください。それ以外のものを使用するとタッチスクリーンが傷つく場合があります。
- 傷ついたスタイラスは使用しないでください。傷ついたスタイラスで操作するとタッチスクリーンが傷つく場合があります。スタイラスが傷ついた場合には新しいスタイラスを購入してください。
- 画面を強くタップしないでください。画面が損傷する場合があります。

メモリカードを挿入する／取り出す

- メモリカードスロットのカバーを開けて、メモリカードを図示の向きに真っすぐ、ロックするまで差し込みます。



- 取り出す場合は、メモリカードを内側に押し込んでからはなすとメモリカードが少し飛び出てきます。メモリカードを取り出し、カバーを閉めます。



電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ◎を長く(約4秒以上)押す

電源が入り、Today 画面が表示されます。

電源を切る

1 ◎を長く(約4秒以上)押す

2 「電源OFF」をタップする

電源が切れます。

重　要

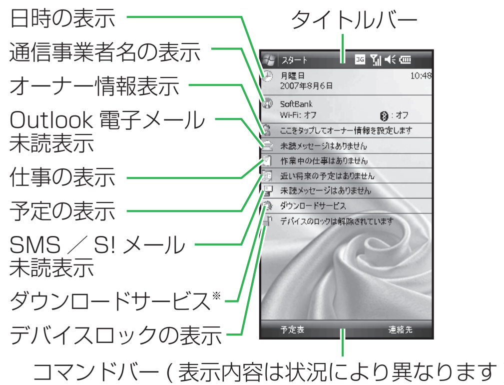
- 電池パックを取り外す際は、電源を切ってしばらくしてから取り外してください。故障の原因となります。
- リセットボタンを押すと、本機がリセットされ再起動します。リセットすると、作成中の文書や操作中の設定は失われます。

補　足

- 初めて電源を入れたときやマスタークリアをしたときにはタッチスクリーンの補正を行います。
- ロック(5-2ページ)を設定した場合は、電源を入れたあとにパスワードを入力してください。

Today 画面

どの画面からもを押すとToday画面を表示することができます。Today画面には日時、アイコン、予定、オーナー情報などが表示されます。で機能を選択し、●を押すと各機能を利用することができます。



※ダウンロードサービスではセキュリティツールやアプリケーションをダウンロードできます。

補　足

- 以下の方法でToday画面のレイアウトを変更することができます。
  「**スタート**」→「**設定**」→「**個人用**」タブ→「**Today**」をタップ

スタートメニュー

1 Today画面→「スタート」をタップ

2 利用したい機能をタップする



補　足

- 表示させるアプリケーションやヘルプはToday画面→「**スタート**」→「**設定**」→「**個人用**」タブ→「**メニュー**」で設定できます。詳しくは「5 各種設定について」の章を参照してください。

ActiveSync でできること

ActiveSyncとは、本機とパソコンを同期するプログラムです。ActiveSyncで同期がとれるファイルは、「予定表」、「連絡先」、「電子メール」、「仕事」、「お気に入り」、「ファイル」、「Media」の7種類になります。

- ActiveSyncのインストール方法については、同梱の「お使いになる前にディスク」をご覧ください。
- 「予定表」、「連絡先」、「電子メール」、「仕事」を同期するには、あらかじめMicrosoft Outlookがパソコンにインストールされている必要があります（本機では、「メモ」を同期することはできません）。
- インターネットサービスプロバイダが「Exchange ActiveSync」をインストールした「Microsoft Exchange Server」に対応している場合は、「予定表」、「連絡先」、「電子メール」、「仕事」を直接同期することができます。

ActiveSync のインストールと設定

1 同梱の「お使いになる前にディスク」から「ActiveSync」をパソコンにインストールする

2 本機とパソコンをUSBで接続する

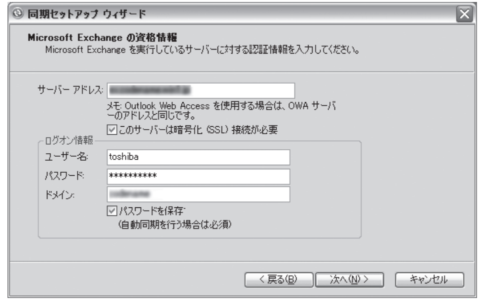
自動的に同期セットアップが始まります。

3 「Microsoft Exchange Server」を設定する場合は、チェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックする



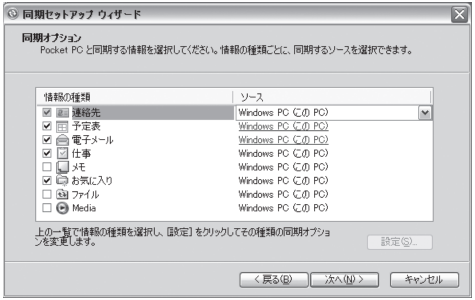
- Outlook アカウントに Exchange Server アカウントが登録されていない場合、パソコンに警告画面が表示されます。「オフライン」をクリックしたあと、「次へ」をクリックして、操作 5 へ進んでください。
- 「Microsoft Exchange Server」を設定しない場合は、チェックボックスにチェックを入れず、そのまま「次へ」をクリックして、操作 5 へ進んでください。

4 「Microsoft Exchange Server」の認証画面で、Exchange Serverの「サーバーアドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」、「ドメイン」を入力し、「次へ」をクリックする



- Exchange Server アドレスやドメインなどの設定がわからない場合は、接続先ネットワーク管理者に確認するか、ご契約先のサービス提供プロバイダにお問い合わせください。

5 同期オプションを設定し、「次へ」をクリックする



- 「Microsoft Exchange Server」を設定している場合は、「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」の同期方法（パソコンか Exchange Server）が選択できます。両方同期させることはできません。「Microsoft Exchange Server」を設定しない場合は、同期方法は選択できません。
- ActiveSync は Microsoft Outlook を同期対象としています。パソコンに Microsoft Outlook がインストールされていない場合は、同期できません。
- パソコンと本機で以下を詳細設定できます。
  ・パソコン：「予定表」／「電子メール」／「お気に入り」
  ・本機：「予定表」／「電子メール」

6 本機をワイヤレス接続させる場合は、チェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックする



- 本機をワイヤレス接続させない場合は、チェックボックスにチェックを入れず、そのまま「次へ」をクリックしてください。

7 完了の画面が表示されたら、「完了」をクリックする

- 「完了」をクリックすると、ActiveSync が自動的に同期を始めます。同期が完了したら、パソコンから本機を外してください。

情報の同期

USBケーブル、Bluetooth®、赤外線を使用して本機をパソコンに接続すると、同期が開始されます。本機をパソコンに接続したままで、本機かパソコンのどちらかで情報の変更をすると自動的に同期されます。

同期を手動で開始／中止する

1 本機をパソコンに接続する

- Outlook の情報とパソコン上の他のローカル情報（メディアファイルを含む）を同期するには、USB ケーブル、Bluetooth®、赤外線を使って本機とパソコンを接続します。

2 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

3 「同期」をタップする

同期を開始します。

●中止する場合は、「中止」をタップします。

Outlookの情報をパソコンと同期する

本機とパソコンを同期するように設定している場合は、Outlookの情報は常に両方で最新の状態になります。
本機を複数のパソコンと同期したり、パソコン（複数設定可）とExchange Serverの両方と本機を同期するように設定することもできます。複数のパソコンと同期すると、同期するアイテムは同期したものも含めてすべてのパソコンに表示されます。たとえば、2台の異なるアイテムを持つパソコン（PC1とPC2）と同期を取るように設定してあり、本機の連絡先と予定表を両方のパソコンと同期すると（メールについては1台のパソコンとしか同期できません）、以下のようになります。

場所	新しい状態
PC1	PC2上のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、PC1に同期します。
PC2	PC1上のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、PC2に同期します。
本機	PC1とPC2の両方のOutlookの全連絡先と予定表の予定は、本機に同期します。

情報を変更する

ActiveSyncは本機のメモリ容量を節約するために、一定量の情報しか同期しません。情報量は、以下の操作で変更することができます。

1 本機をパソコンから取り外す

2 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

3 「メニュー」→「オプション...」をタップ

●以下の操作を行ってください。
- 同期するデータを選択してください。データを選択できない場合は、リストの中で同じ種類の情報データのチェックを外してください。
- 同期したくないデータはチェックを外します。
- パソコンとの同期を完全に中止するには、「**Windows PC**」をタップ→「**削除**」をタップします。

補　足

- 同期の設定を変更するには、情報の種類を選択し、「**設定**」をタップします。

Outlookの情報をExchange Serverと同期する

会社やインターネットサービスプロバイダがExchange Serverを使用している場合は、本機でExchange Serverとの同期を設定することができます。Exchange Server名、ドメイン名、ユーザー名、パスワードなどの情報を準備した上で、手順に従ってください
（「ActiveSyncのインストールと設定」を参照してください）。

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

2 「メニュー」→「サーバーのソースの追加...」をタップ

3 「サーバーアドレス：」にExchange Serverを起動しているサーバー名を入力→「次へ」をタップする

4 「ユーザー名」／「パスワード」／「ドメイン」を入力→「次へ」をタップ

5 Exchange Serverと同期する情報データの種類を選択する

●同期の設定を変更するには、情報の種類を選択し、「**設定**」をタップして変更します。

6 「完了」をタップする

重　要

- 本機で同期の設定を変更する前に、本機をパソコンから取り外してください。
- Exchange Serverでリモートデバイスワイプを行うと本機はお買い上げ時の状態に戻ります。メモリカードを挿入してリモートデバイスワイプを行うと、メモリカードの内容もすべて削除されます。メモリカードの内容を削除しない場合は、メモリカードを挿入しない状態でリモートデバイスワイプを行ってください。また、リモートデバイスワイプは、次に本機とExchange Serverが接続されたときに実行されます。

Exchange Server との予約同期

本機とExchange Serverの間で情報を自動的に同期するように予約したり、一定間隔で同期を行うよう予約することができます。

ActiveSyncのスケジュール設定

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

2 「メニュー」→「スケジュール...」をタップ

3 「ピーク タイム」と「オフピーク タイム」で「新着アイテムの受信時」を選択する

定期同期を予約する

電子メールの量が多い場合は、ピーク タイム中に何回同期を取るかを設定することができます。また電子メールの量が少ない場合は、オフピーク タイムに設定できます。

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

2 「メニュー」→「スケジュール...」をタップ

3 間隔を選択する

●新しい電子メールをひんぱんに受信できるようにするには、ピーク タイムで短い間隔を選択してください。
●オフピーク タイムでは長い間隔を選択してください。

補　足
- ピーク タイムとオフピーク タイムの曜日と時刻を設定するには、「**スケジュールに合わせてピークタイムを調整**」をタップします。

Bluetooth® ／赤外線による同期

本機とパソコンの同期は、Bluetooth®や赤外線接続を利用して行うことができます。

Bluetooth®でパソコンと同期する

1 パソコン側のActiveSyncヘルプの指示に従い、Bluetooth® プログラムがActiveSyncに対応するように設定する

2 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ

● Bluetooth® を使用して最初にパソコンに接続する場合は、本機とパソコンの Bluetooth® 機器との接続設定を完了させてください。

3 「メニュー」→「Bluetoothから接続」をタップ

●本機とパソコンの Bluetooth® プログラムがオンになっていることと、電波受信範囲内にあることを確認してください。

4 本機とパソコンの間でパートナーシップを確立する

●詳しくは「6 接続について」の章を参照してください。

補　足
- 電池の消耗を節約するため、Bluetooth®を使用しないときはオフにしてください。
- Bluetooth®を利用して本機とパソコンを接続するには、パソコン側にBluetooth®通信機能（機能が内蔵されていない場合は、パソコン用Bluetooth®アダプタ）が必要となります。

赤外線でパソコンと同期する

1. **パソコン側のActiveSyncヘルプの指示に従い、赤外線を受信できるようにパソコンを設定する**
2. **本機とパソコンの赤外線ポートの間に障害物がなく動作ができる範囲内で、本機とパソコンの赤外線ポートを向き合わせる**
3. **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」をタップ**
4. **「メニュー」→「赤外線から接続」をタップ**

   ホストへの接続を開始します。

補　足

- 赤外線を利用して本機とパソコンを接続するには、パソコン側に赤外線通信機能が必要となります。

音楽／ビデオ／画像の同期

音楽やデジタルメディアを携帯したい場合は、ActiveSyncとWindows Media Playerを使って本機で音楽、ビデオ、画像を同期することができます。
ActiveSyncでは同期するメディア情報の種類を選択するだけで、その他のメディアの同期設定はすべてのWindows Media Playerで行います。メディアを同期する前に、以下の操作を行ってください。

●パソコンにWindows Media Player 10がインストールされているか確認してください。
●USBケーブルでパソコンと本機を接続してください。Bluetooth®または赤外線で接続されているときには、同期を実行する前に接続を終了してください。
●本機にメモリカードを挿入してください。
●メモリカードとWindows Media Playerの間で同期のパートナーシップを設定してください。

補　足

- Windows Media Player 10はWindows XP以降のバージョンから使用できます。

メディアの同期設定を変更する

ActiveSyncで同期するメディア情報の種類を選択したら、Windows Media Player再生リストの中から音楽、ビデオ、画像ファイルを同期することができます。Windows Media Playerでこれらのメディアファイルの同期設定を行ってください。

1. **パソコンでWindows Media Playerを起動する**
2. **「同期」タブをクリックする**
3. **「Storage Card」を選択する**
4. **「同期の設定」をクリックする**

   ●同期を手動で行うか、自動で行うかを選択してください。

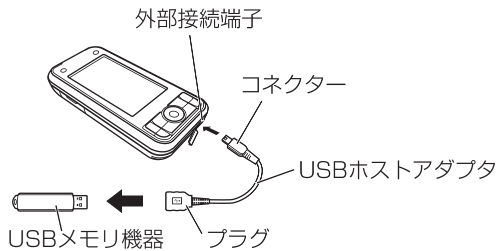
補 足

- 本機のWindows Media Playerについての詳細は「7 アプリケーションとマルチメディアについて」の章を参照してください。



USB ホスト機能の利用

本機にはUSBホスト機能が搭載されています。USBホストアダプタ（オプション品）を、外部接続端子に接続することでUSBメモリ機器を利用することができます。
本機にUSBホストアダプタを接続したとき、最大100mAの電流を供給します。
100mAを超える電流を必要とするUSBメモリ機器には接続しないでください。USBホスト機能が正常に機能しないことがあります。
「」が表示されるとUSBホスト機能は利用できません。



- USBメモリ機器の内容を確認するには、Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」→「**ファイルエクスプローラ**」→「**マイデバイス**」をタップします。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「交換機用暗証番号」、「発着信制限用暗証番号」が必要になります。

- 「交換機用暗証番号」、「発着信制限用暗証番号」は忘れないように別にメモなどを取り、他人に知られないよう管理してください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。
- いずれの暗証番号についても、他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

交換機用暗証番号について

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

発着信制限用暗証番号について

ご契約時の4桁の暗証番号で、発着信制限の設定を行う場合に必要な番号です。発着信制限用暗証番号は変更することができます。

電話をかける

Today画面、電話画面、連絡先、通話履歴、スピードダイヤルから電話をかけることができます。
電話をかける前に、以下を確認してください。
●電源が入っているか
●USIMカードが挿入されているか
●電波の状態は良好か

電話をかける

1 Today画面→ を押す

電話画面が表示されます。
● Today 画面→「**スタート**」→「**電話**」をタップしても電話画面が表示されます。

2 数字ボタンをタップし電話番号を入力する

3 「通話」をタップする

電話がかかります。
● を押しても電話がかかります。

連絡先から電話をかける

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 かけたい相手をタップする

3 電話番号をタップする

電話がかかります。

補　足

● 登録されている連絡先が多い場合は、Today画面を表示中にキーボードで名前の2、3文字を入力すると該当する連絡先が表示されます。 で連絡先を選択し、 を押すと電話がかかります。

通話履歴から電話をかける

1 Today画面→ を押す

2 「通話履歴」をタップする

3 かけたい相手をタップする

4 「ダイヤル」をタップする

発信履歴から電話をかける

1 Today画面→ を押す

2 画面中央に表示されるリストからかけたい相手をタップする

3 「ダイヤル」をタップする

リダイヤル

1 Today画面→ を2回押す

スピードダイヤル

連絡先の電話番号をスピードダイヤルとして登録できます。スピードダイヤルには最大99件登録することができます。

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 登録したい連絡先をタップする

3 で電話番号を選択する

4 「メニュー」→「スピードダイヤルに追加...」をタップ

5 登録する短縮番号を選択する

6 「ok」をタップする

補　足

- 「**0**」キーをタップアンドホールドすると、国際電話に対応した「**+**」マークが表示されます。
- スピードダイヤルのオプションとして、Today画面→→「**スピードダイヤル**」→「**1**」をタップするとボイスメール(留守番電話)にかけられます。

スピードダイヤルのボイスメール（留守番電話）

スピードダイヤルボイスメールはお買い上げ時に登録されています。ボイスメールの番号（1416）が変更になった場合は、Today画面→→「**スピードダイヤル**」→「**ボイスメール**」をタップし、ボイスメールの番号を変更してください。

スピードダイヤルを使う

キーボードで登録しているスピードダイヤルを長く（約2秒以上）押します。スピードダイヤルが2桁の場合は、10の位の数字を押したあと1の位の数字を長く（約2秒以上）押します。

スピードダイヤルを編集する

1 Today画面→を押す→「スピードダイヤル」をタップ

2 で編集したいスピードダイヤルを選択する

3 「メニュー」→「編集...」をタップ

4 項目を編集する

5 「ok」をタップする

スピードダイヤルを削除する

1 Today画面→を押す→「スピードダイヤル」をタップ

2 で削除したいスピードダイヤルを選択する

3 「メニュー」→「削除」→「はい」をタップ

電話を受ける

電話に応答する／拒否する

応答する

1 電話がかかってきたら[通話キー]を押す

●通話が終わったら [終話キー] を押します。

拒否する

1 電話がかかってきたら[終話キー]を押す

補　足

● 着信を拒否すると、電話をかけてきた相手は、ボイスメール（留守番電話）につながります。

ご自分の電話番号の確認

お客様の電話番号を確認できます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「電話」タブをタップ

画面上部にお客様の電話番号が表示されます。

マナーモードを設定する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようマナーモードに切り替えることができます。マナーモードにすると画面上に「[マナーモードアイコン]」が表示されます。

●映画館・劇場・美術館などでの鑑賞中は電源をお切りください。
●電車や新幹線の中などでは、車内アナウンスや掲示に従ってください。
●航空機内では、運航の安全に影響を与えるおそれがありますので電源をお切りください。
●病院・研修所などの使用が禁止されている場所では、精密機器などに影響を及ぼす場合がありますので電源をお切りください。
●レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないようご注意ください。
●街の中での通話は、通行の妨げにならないように十分ご注意ください。

1 [OKキー]を長く（約2秒以上）押す

●どの画面でもマナーモードを設定することができます。
● [OKキー] を押すたびに、オン（[オンアイコン]）→マナーモード（[マナーモードアイコン]）→オフ（[オフアイコン]）と切り替わります。

重　要

● マナーモードにしても、カメラ利用時のシャッター音、録画開始音・終了音は鳴ります。

通話中のオプションサービス

多者通話サービス

●多者通話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 **通話中→「保留」をタップ**

通話中だった相手は保留になります。

2 **「キーパッド」→電話番号入力→を押す**

3 **通話を切り替えるには「切り替え」をタップする**

補 足
- 多者通話サービスをお申し込みされていない場合は、保留することはできません。

複数で同時に通話する

1 **通話中→「保留」をタップ**

2 **「キーパッド」→追加相手の電話番号を入力→「通話」をタップ**

3 **「メニュー」→「三者通話」をタップ**

複数の相手と同時に通話することができます。

多者通話中に別の相手を加える

1 **別の相手を加えるには、電話番号を入力し、再度「メニュー」→「三者通話」をタップ**

多者通話中に1人とだけ通話する

1 **多者通話中に「メニュー」→「プライベート」をタップ**

2 **通話したい相手を選択し、「プライベート」をタップする**

スピーカーフォンに切り替える

スピーカーから相手の声が聞こえるように切り替えることができます。

1 **通話中→「スピーカー オン」をタップ**

スピーカーフォンに切り替わります。

●「**スピーカー オフ**」をタップするとレシーバーに切り替わります。

補 足
- 「**スピーカー オン**」に設定しても通話終了後には「**スピーカー オフ**」に戻ります。

ハンズフリー通話モードに切り替える

ハンズフリー機器を取り付けた状態で通話中に「**メニュー**」→「**ハンズフリーをオンにする**」をタップするとハンズフリー機器を使用できます。

補 足

- ステレオイヤホンマイクをご利用の場合は、自動的にハンズフリー通話モードに切り替わります。

国番号を付加する

国際電話をかけるには、ダイヤルする電話番号の前に、国番号を必ず付記します。国番号を入力するには、「**0**」キーをタップアンドホールドして「**+**」マークを表示させて、電話番号を入力します。

補 足

- 「**+**」マークを挿入して連絡先に保存することやキーボードから直接ダイヤルすることもできます。

ステレオイヤホンマイクの利用

ステレオイヤホンマイク接続時にイヤホンマイクのスイッチを押すだけで、かかってきた電話を受けることができます。

1 **イヤホンマイク端子のキャップを開ける**

2 **イヤホンマイクの接続プラグをイヤホンマイク端子に差し込む**

ワンタッチで電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、イヤホンマイクのスイッチを押す**

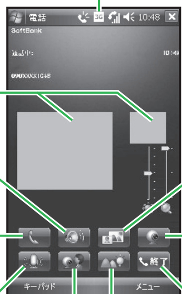
●イヤホンマイクのスイッチを長く（約 2 秒以上）押すと着信を拒否します。

2 **通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを長く（約2秒以上）押す**

TV コール

本機ではTVコールを利用できます。TVコールとはTVコール対応機どうしで、相手の表情を見ながら通話できる機能です。
※本機は3GPPで標準化された3G-324Mに準拠しています。
TVコールの設定については5-10ページを参照してください。

TV コール画面の見かた



補 足

- TVコール通話中、をタップして代替画像を設定しても、通話の保留→解除を行うと、代替画像の設定も同時に解除されます。

TV コールをかける

TVコールをかける前に相手の電話機がTVコール対応機であることを確認してください。

1 **Today画面→ を押す**

2 **電話番号を入力する**

3 **「ビデオ」をタップする**

TV コールがかかります。

TV コールに応答／拒否する

- 着信に応答する場合は、「**応答**」をタップします。
- 相手に表示される画像はTVコールの設定により異なります（詳しくは「5 各種設定について」の章を参照してください）。
- 着信を拒否する場合は、 を押す、または「**拒否**」をタップします。

緊急通報について

以下の場合でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

●ロック中（P5-2）

●デバイスのロック中（P5-3）

重　要

- TVコールで緊急通報した場合は、音声通話となります。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。

本機では受信している基地局測位情報※をもとに算出した、位置情報を通知します。

※基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。

●発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。

●「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。

●「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。

●申込料金、通信料は一切必要ありません。

「メール」について

以下のメッセージタイプの作成、送信、受信、編集、削除、保存について説明します。

●SMS
●S!メール
●Outlook 電子メール

「SMS」について

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短いメッセージの送受信ができます。SMSでは文字の種別にかかわらず、70文字（最大140バイト）まで送信できます。

テキストメッセージ（SMS）を作成する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「SoftBankメール」をタップ

2 「メニュー」→「新規作成」→「SMS」→「Ok」をタップ

3 「メニュー」→「連絡先」をタップ

連絡先が表示されます。

- 「**宛先**」をタップしたあとに、◉ を押すとアドレス入力画面が表示されます。
- 「**宛先**」を２回タップするとアドレス入力画面が表示されます。

4 宛先を選択→メッセージエリアにメッセージを入力

5 「メニュー」→「送信」をタップ

SMS が送信されます。

重　要

- SMSの文字入力画面で「**メニュー**」→「**絵文字入力**」をタップすると、絵文字を入力できます。
- 絵文字を含んだ文字列をSMS、S!メール以外で使用すると文字化けの原因となります。

配信通知する

1 SMS作成画面→「メニュー」→「送信オプション」→「配信確認」をタップ

2 「リクエストする」ボタンをタップする

3 「Ok」をタップする

SMS を返信する

1 メッセージを開いた状態で「メニュー」→「返信」をタップ

●受信ボックスのリスト画面でも「**返信**」を選択できます。

2 「返信」／「引用返信」／「全員に返信」／「全員に引用返信」→「Ok」をタップ

3 「SMS」→「Ok」をタップ

4 メッセージエリアにメッセージを入力する

5 「メニュー」→「送信」をタップする

SMS が送信されます。

SMS を転送する

1 メッセージを開いた状態で「メニュー」→「転送」をタップ

2 宛先を設定する

●宛先の設定方法については「テキストメッセージ（SMS）を作成する」を参照してください。

3 メッセージエリアにメッセージを入力する

●メッセージは入力しなくても送信できます。

4 「メニュー」→「送信」をタップ

SMS が送信されます。

SMS を削除する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「SoftBankメール」をタップ

2 ◎で削除したいメッセージを選択する

3 「メニュー」→「削除」→「はい」をタップ

SMS が削除されます。

SMS センター番号を変更する

ソフトバンクモバイルより番号変更のお知らせがない場合は変更しないでください。サービスがご利用できなくなります。間違えて変更してしまった場合は、「**+819066519300**」に設定してください。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ

2 「ボイスメールとSMSメッセージ」→「設定の取得...」をタップ

3 「SMSメッセージサービスセンター:」ボックスに新しいセンター番号を入力する

4 「ok」をタップする

S! メールのアドレスを変更する

S!メールをご利用の場合、パソコンなどとのやりとりに使用するメールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。
（例:変更前）
□□□□□□□□□□□□@softbank.ne.jp
（例:変更後）
お好みのアカウント名@softbank.ne.jp

●この操作は、Internet Explorerを利用します。
●ご契約時にはランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

1 **Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ**

2 **「メニュー」→「お気に入り...」→「My SoftBank for X Series」をタップ**

3 **「変更・申込」→「オリジナルメール設定」をタップ**

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

「S! メール」について

ソフトバンク携帯電話（S!メール対応機）やインターネットに接続された電子メール対応機器に、長いメッセージや画像、メロディを添付して送受信することができます。

S! メールを作成する

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「SoftBankメール」をタップ**

2 **「メニュー」→「新規作成」→「S!メール」→「Ok」をタップ**

3 **宛先を追加する**

●宛先を追加する場合は、「**宛先 :**」フィールドをタップします。

4 **メッセージエリアにメッセージを入力する**

5 **「メニュー」→「送信」をタップ**

S! メールが送信されます。

重 要

- S!メールの文字入力画面で「**メニュー**」→「**絵文字入力**」をタップすると、絵文字を入力できます。
- 絵文字を含んだ文字列をSMS、S!メール以外で使用すると文字化けの原因となります。

画像やビデオを添付する

1 S!メール作成画面で「添付:」エリアをタップする

すべてのファイルが表示されます。

●画像やビデオを検索するために他のフォルダを選択することもできます。

2 添付する画像／ビデオをタップする

画像やビデオを選択すると、メッセージ作成画面が表示されます。

メールの送信オプション

メッセージ作成画面でカーボンコピー（cc）、もしくはブラインドカーボンコピー（bcc）として宛先に追加することができます。また、「**メニュー**」→「**送信オプション**」をタップして、メッセージごとに優先度、メッセージの配信確認、メッセージの配信時間の指定、メッセージの有効期限を送信オプションとして設定することができます。

以下の操作で送信オプションをデフォルトとして設定することができます。

SoftBankメールの各ボックスを表示中→「**メニュー**」→「**メール設定**」→「**設定編集**」→「**S!メール設定**」をタップ

S! メールメッセージを受信する

S!メールメッセージは自動的に受信されます。受信すると、通知が表示され、受信ボックスに保存されます。受信ボックスでメールをタップすると、内容を表示することができます。

重　要

- 受信ボックスには、SMSとS!メールをあわせて最大1,000件まで保存することができますが、メインメモリの空き容量により保存件数は変動します。空き容量が少なくなると、警告画面が表示されますので、不要なメールは削除してください。削除しない場合、新しい受信メールが本機に届かないまま破棄されることがあります。なお、本機には、古いメールから自動的に削除される機能はありません。

S! メールの受信ボックスメニューアイテムについて

●**新規作成**：新しいメッセージを作成します。
●**開く**　　：メッセージを開きます。
●**転送**　　：現在のメッセージを転送します。
●**移動**　　：メッセージを他のフォルダに移動します。
●**削除**　　：現在のメッセージを削除します。
●**メール全削除**：SoftBankメールメッセージをすべて削除します。
●**複数選択**：メッセージを複数選択します。
●**未読にする**：メッセージを未読表示にします。
●**既読にする**：メッセージを既読表示にします。
●**保護**　　：メッセージを保護します。保護を設定すると削除の対象になりません。
●**保護解除**：メッセージの保護を解除します。
●**メール設定**：「**一般設定**」／「**S!メール設定**」／「**SMS設定**」の編集をします。
●**終了**　　：SoftBankメールを終了します。

受信方法を設定する

サーバメールボックスに届いたS!メールの受信方法を設定します。

1 **受信ボックス表示中→「メニュー」→「メール設定」→「設定編集」→「S!メール設定」→「自動受信設定」をタップ**

2 **「ホーム」/「ローミング時」→「Ok」をタップ**

●チェックボックスのチェックをすべて外すと手動受信モードに設定されます。

サーバメール操作

メールリストを利用する

受信するS!メールおよびSMSが以下の条件に当てはまる場合、メールはサーバメールボックスに一時保存されます。

●携帯電話の電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合

●自動受信の設定(左記)を手動受信モードに設定していて、以下にあてはまる場合

・メッセージが半角285文字(285バイト)以上の場合
・添付ファイルがある場合
・複数の宛先が指定されている場合
・件名が半角の41文字以上の場合
・送信側のアドレスが半角61文字以上の場合

メールリストの受信

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「SoftBankメール」をタップ**

2 **画面左上の下向き矢印をタップし、「サーバメールボックス」をタップする**

3 **「はい」をタップする**

サーバメールボックスメニューアイテムについて

●**全メール受信**：サーバメールボックスに保存されたメールを受信ボックスに受信します。
●**続きを受信**：メールリストからS!メールの続きを受信します。
●**転送**：サーバメールボックスに保存されているメールを、パソコンなどに転送します。
●**削除**：以下の操作を行うことができます。
・**サーバから削除**：サーバからメールを削除します。再度「**リスト受信**」を行ってもサーバメールリストには表示されません。
・**一覧から削除**：サーバメールリストから削除します。再度「**リスト受信**」を行うとサーバメールリストに表示されます。
●**メール全削除**：サーバメールボックスに保存されているメールをすべて削除します。
●**メール詳細**：受信をした「**日付**」／「**From：**」／「**件名**」／「**Size**」を確認します。
●**複数選択**：サーバメールボックスに保存されているメールを複数選択します。
●**サーバメール容量**：サーバメールボックスの使用率を確認します。

「電子メール」について

電子メールを送受信する前に、電子メールアカウントを設定してください。本機では以下のタイプの電子メールアカウントをサポートしています。
●インターネット電子メール（POP／IMAP）
●Exchange Server（Outlook）

電子メールアカウントを自動的に設定する

1 **Today画面→「スタート」→「Outlook」→「新しい電子メール アカウント」をタップ**

2 **「電子メール アドレス」フィールドをタップ→アカウントのための電子メールアドレスを入力する**

3 **「インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する」のチェックボックスをタップする**

4 **「次へ」をタップする**

アカウントの設定が完了します。
●アカウントの設定が完了できない場合は、「**次へ**」をタップしアカウントを手動で設定してください。次のセクションで手順を説明します。

電子メールアカウントを手動で設定する

1 電子メールのプロバイダをリストから選択し、「次へ」をタップする

2 「名前：」フィールドにあなたの名前（電子メールを送信するとき表示される名前）を入力する

3 「アカウント表示名：」フィールドにアカウント名を入力→「次へ」をタップ

4 「受信メールサーバー：」フィールドに受信サーバー名を入力する

5 アカウントの種類「POP3」／「IMAP4」を選択→「次へ」をタップ

6 「ユーザー名：」フィールドにユーザー名を入力する

●メールサーバーへのログイン名のことを指します。

7 「パスワード：」フィールドにパスワードを入力する

●英字と数字の両方を入力することでパスワードのセキュリティを強化します。

8 パスワードを保存したい場合は、「パスワードの保存」のチェックボックスをタップする

●パスワードは必須ではありません。詳細については、インターネットサービスプロバイダ（ISP）に確認してください。

9 「次へ」をタップする

10 送信メールサーバー（SMTP）名を入力する

11 送信サーバーより認証の要求がある場合は、「送信サーバーで認証を要求する」のチェックボックスをタップする

●認証を要求された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳細については、インターネットサービスプロバイダ（ISP）に確認してください。

12 「送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する」のボックスをタップする

●チェックボックスにチェックを入れると送信時の認証は自動的に受信時の名前、パスワードで行われます。

13 追加設定する場合は、「サーバーの詳細設定」をタップする

●メール受信時に SSL 接続する場合は、「**受信電子メールには SSL が必要**」のチェックボックスをタップします。メール送信時に SSL 接続する場合は、「**送信電子メールには SSL が必要**」のチェックボックスをタップします。

● SSL 接続は、個人情報をより安全に送受信できます。これらのオプションから、一つまたは両方を選択し、契約された各 ISP が SSL 接続をサポートしていない場合、電子メールは送受信できません。

●「**ネットワーク接続：**」では電子メールサーバーに接続したいネットワークを選択することができます。

14「サーバーの詳細設定」を終了するには「完了」をタップする

●電子メールアカウントの設定を完了させる前に、ここまでに入力した情報を再確認してください。
●認証を要求された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。詳細については、各サービスプロバイダに確認してください。

15「次へ」をタップする

16「自動送受信」から定期的に電子メールを送受信する頻度を選択する

17「すべてのダウンロードの設定を確認する」をタップする

●「**メッセージのダウンロード:**」フィールドでサーバーからメッセージをダウンロードする範囲を設定します。
●電子メールの送信や削除の設定をする場合は、「**詳細設定**」をタップします。「**詳細設定**」を終了するには「**完了**」をタップします。
・**[送信] をクリックしたときに送受信を実行する**:メール送信時に受信も同時に行うかを設定します。
・**ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する**:自動送受信を設定してある場合、ローミング時に設定した時、送受信を行うかどうかを設定します。
・**メッセージの削除時**:メッセージの削除時の動作を選択します。

18「次へ」をタップする

19「メッセージ形式:」から送信フォーマットを選択する

20「メッセージのダウンロード制限:」からダウンロードサイズの制限を選択する

21「完了」をタップする

Outlook の電子メールアカウントを設定する

Outlook 電子メールアカウントはMicrosoftのExchange Serverによって作成され管理されています。電子メールを利用する場合は、必ずアカウント設定を完了させてください。
Exchange Serverで電子メールを送受信するには、Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」→「**ActiveSync**」をタップします。ActiveSyncの設定が完了したら、Today画面→「**スタート**」→「**Outlook**」→「**Outlookメール**」→「**メニュー**」→「**移動**」→移動先のフォルダをタップします。電子メールフォルダはパソコンのOutlookのクライアントと同様です。

受信メールリストを確認する

1 Today画面→「スタート」→「Outlook」→アカウントをタップ

●受信したメッセージを受信メールリストで表示します。

電子メールを作成する

1 Today画面→「スタート」→「Outlook」→アカウントをタップ

2 「メニュー」→「新規」をタップ

3 宛先／Cc／Bccフィールドに電子メールアドレスを入力する

●複数のアドレスに送信する場合は、各アドレスの間にセミコロン（；）を挿入します。

4 「件名」を入力する

5 メッセージエリアにメッセージを入力する

6 「送信」をタップする

●電子メールは送信ボックスに保存され、同期を実行するか電子メールサーバーに接続すると送信されます。

補　足

- 「**宛先**」→◉を押すと、連絡先リストが表示され、すばやく入力することができます。複数のアドレスに送信する場合は、アドレスはセミコロン（；）で区別されます。
- 優先度を設定する場合は、「**メニュー**」→「**メッセージのオプション...**」をタップします。
- メッセージを取り消しする場合は、「**メニュー**」→「**メッセージの取り消し**」をタップします。

電子メールを返信する

1 メッセージを開いた状態で「返信」をタップする

●全員に返信する場合は、「**メニュー**」→「**返信**」→「**全員へ返信**」をタップします。

●転送する場合は、「**メニュー**」→「**返信**」→「**転送**」をタップします。

2 メッセージエリアにメッセージを入力する

3 「送信」をタップする

補　足

- Outlookに返信する場合、送信されてきているメッセージを編集していなければより少ないデータ量で送信できます。

電子メールを送受信する

1 Today画面→「スタート」→「Outlook」→アカウントをタップ

2 「メニュー」→「送受信」をタップ

●インターネット電子メールサーバーに接続しメールを送受信します。

電子メールの続きを受信する

「電子メールアカウントを手動で設定する」の「**メッセージのダウンロード制限：**」の設定によっては、電子メールを一部しか受信しない場合があります。続きを受信すると完全な電子メールとして受信することができます。

1 Today画面→「スタート」→「Outlook」→アカウントをタップ

2 ダウンロードするメッセージをタップする

3 「メニュー」→「メッセージのダウンロード」または「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップ

4 同期を実行する、または電子メールサーバーに接続するとダウンロードできます

補　足

- 停止するには、「**メニュー**」→「**ダウンロードしない**」または「**次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。**」をタップします。

電子メールの添付ファイルをダウンロードする

添付ファイルのある電子メールを開いた状態で添付ファイルをタップします。同期を実行するか電子メールサーバーに接続すると添付ファイルをダウンロードできます。

添付ファイルを確認する

ダウンロードされた添付ファイルを含むメッセージを開き、添付ファイルをタップします。

電子メールに添付データを挿入する

1 電子メールのメッセージエリアで「メニュー」→「挿入」→「画像」／「ボイスメモ」／「ファイル」をタップ

2 追加したいデータをタップする

アカウントを切り替える

1 アカウント使用中に「メニュー」→「切り替え」をタップ

2 切り替えたいアカウントをタップする

メールを他のフォルダに移動する

1 Today画面→「スタート」→「Outlook」→アカウントをタップ

2 移動するメールをタップする

3 「メニュー」→「移動」→移動先のフォルダをタップ

4 「選択」をタップする

メッセージオプションについて

Today画面→「**スタート**」→「**Outlook**」→アカウントをタップしたあと、「**メニュー**」→「**ツール**」→「**オプション...**」をタップしてアカウント、メッセージ、アドレス、保存の設定をカスタマイズできます。

- 「**アカウント**」タブ：それぞれのアカウントの設定を変更することができます。新しいアカウントを設定するには「**新しいアカウント...**」をタップします。メールを開くたびにメールアカウントを選択しない場合は、「**メールを開く際にアカウントを選択する**」のチェックボックスのチェックを外します。
- 「**メッセージ**」タブ：メールの返信、送信、削除、移動の設定を行うことができます。
- 「**アドレス**」タブ：送信先の設定に使用する連絡先を選択できます。
- 「**保存場所**」タブ：メインメモリ、メモリカードの空き容量、添付ファイルのサイズを確認することができます。また、メモリカードに添付ファイルを保存するように設定することができます。「**[削除済みアイテム]を空にする：**」で削除済みアイテムの削除タイミングを設定することができます。

署名を設定する

それぞれのメッセージアカウントで送信するメッセージに自動的に挿入する署名を設定できます。

1 「アカウント」タブの「署名...」をタップする

2 「アカウントの選択：」で署名を使用したいアカウントを選択する

3 「このアカウントで署名を使用する」のチェックボックスをタップする

4 「返信／転送時に使用する」のチェックボックスをタップする

●チェックを入れない場合は、新しいメッセージにのみ挿入されます。

5 署名を入力する

6 「ok」をタップする

「Windows Live Messenger」について

Windows Live MessengerはMSNメッセンジャーの次のモデルで、新しいメッセージサービスを提供します。Windows Live Messengerは、連絡先リスト、絵文字、友達に簡単にアクセスすることができます。Windows Live Messengerの新たな特徴は以下のようになります。

- ●連絡先リストと会話受信ボックスをより簡単に管理できます。
- ●一度に5つの会話に参加または閲覧することができます。
- ●会話を保留する必要がありません。モバイルのメッセンジャーは現在の会話履歴を維持でき、また、バックグラウンドにある保留会話を再実行することができます。
- ●絵文字は表示名と会話の中にグラフィックとして表示できます。
- ●表示名とステータスを簡単に変更でき、サインインする前でもステータスを設定できます。
- ●連絡先をより早く、より簡単に分類や検索ができます。
- ●連絡先カードから直接電話をかけたり、電子メールを送信することができます。
- ●連絡先のリストにまだ登録されていない一時的な相手との会話、連絡先リストに追加できるオプションを受信することができます。

補　足

- ● Windows Live Messenger を使用するにはインターネットに接続し、Microsoft .NET Passport(www.passport.com)、またはHotmailアカウント(www.hotmail.com)を取得してください。

Passport を取得する

http://www.passport.comにアクセスをしてください。

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

Hotmail アカウントを作成する

http://www.hotmail.comにアクセスをしてください。

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

Windows Live Messenger を使用する

Windows Live Messengerで簡易メッセージを本機やパソコンに送信することができます。

Windows Live Messengerを使用するには、Microsoft Passport Networkの証明書が必要です。証明書を入手したあと、以下のように設定することができます。

1 **本機でインターネットへの接続を設定する**

2 **Windows LiveのIDを取得する**

3 **Windows Live Messengerにサインインする**

Windows Live Messengerにアクセスする

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Messenger」をタップ**

2 **右または左の矢印をタップ→ステータスを選択→「サインイン」をタップ**

3 画面の指示に従ってサインインする

●サインインするには、Microsoft Passport Network の証明書または Hotmail アカウントが必要です。

補　足

● 接続速度やネットワークの状況によっては、アカウントにサインインするのに数分かかる場合があります。

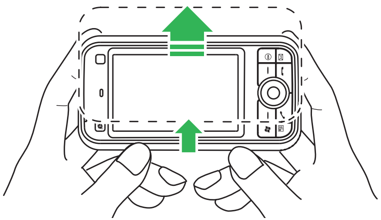
文字入力について

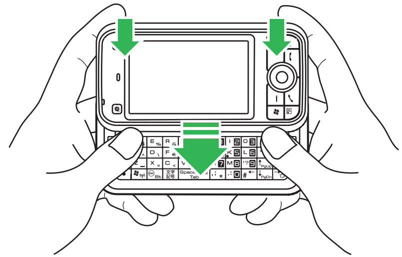
本機では、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号を入力できます。入力方法には、キーボードによる入力と入力パネルによる入力の2種類があります。

キーボードによる文字入力

キーボードを開く

1 表示部をスライドさせ開く





重　要

● 無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

キーボードを閉める

1 「カチッ」と音がするまで閉じる

文字入力モードを変更する

1 文字の入力画面→[文字記号]を押す

●英全角→英半角→ひらがな→カタカナ全角→カタカナ半角と切り替わります。

その他の文字入力機能

●英字を入力時[•]+[Shift Lock]を押すと大文字と小文字の切り替えができます。[Shift Lock]のみを押すと1文字分切り替えることができます。

●数字や記号を入力するには[•]を押しながら入力するか、[•]+[文字記号]を押したあと入力します。

●左右ソフトボタン[-]／[-]を押すと画面下部のコマンドバーを実行します。

●前後左右に移動するときは、矢印キー[#←]／[↑PgUp]／[↓PgDn]／[→]を押してください。

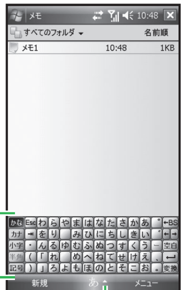
[Windows]を押すとスタートメニューが開きます。

補　足

- 「\」を押すと、「**¥**」が表示されます。

入力パネルによる文字入力

メニューバー上の入力パネル表示アイコンをタップして、入力パネル（キーボード）を表示します。入力方法には、ひらがな／カタカナ、ローマ字／かな、手書き検索、手書き入力があり、入力パネル切り替え矢印をタップすると入力方法メニューが表示され、切り替えることができます。



入力パネル（キーボード）

入力パネル表示アイコン

入力パネル切り替え矢印

ひらがな／カタカナ入力

1 入力パネル切り替え矢印をタップする

2 「ひらがな／カタカナ」をタップする

3 入力パネルでボタンをタップする

入力パネルで直接ボタンをタップすると、文字が入力されます。



補　足

- ひらがなを入力する場合は「**かな**」を、カタカナを入力する場合は「**カナ**」をタップします。また、小文字を入力する場合は「**小字**」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「**変換**」をタップし、入力したい漢字を選択します。

ローマ字／かな入力

基本的な操作方法は「ひらがな／カタカナ入力」と同じです。

1 **入力パネル切り替え矢印をタップする**

2 **「ローマ字／かな」をタップする**

3 **入力パネルでボタンをタップする**

入力パネルで直接ボタンをタップすると、文字が入力されます。



補　足

- ひらがなを入力する場合は「**かな**」を、カタカナを入力する場合は「**カナ**」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「**変換**」をタップし、入力したい漢字を選択します。

手書き検索

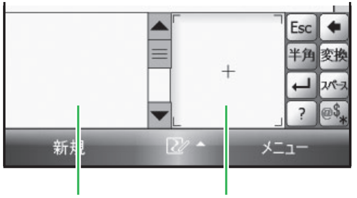
手書き入力時に、手書き入力欄に書き込まれた文字の画数が多いなどの理由により正しく認識されない場合には手書き検索が便利です。

1 **入力パネル切り替え矢印をタップする**

2 **「手書き検索」をタップする**

3 **手書き入力欄に、検索する文字を書き込む**

入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字をタップします。



文字認識候補一覧　手書き入力欄

手書き入力

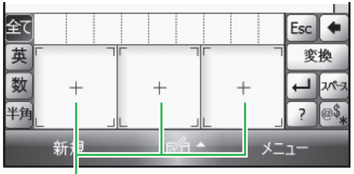
3つの手書き入力欄に文字を書き込むと、その文字が活字となって入力パネルに表示されます。

1 入力パネル切り替え矢印をタップする

2 「手書き入力」をタップする

3 手書き入力欄に文字を書き込む

- 「**全て**」をタップすると、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、すべての文字の候補が表示されます。英字、数字だけを入力する場合は、「**英**」「**数**」をタップします。



手書き入力欄

ボタン設定

ボタン1～4（、、、）には、すでにプログラムが割り当てられています。
各ボタンの割り当ては変更することができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボタン」をタップ

現在のボタンに割り当てられているプログラムが表示されます。お買い上げ時は以下のように設定されています。

- **ボタン 1**：連絡先
- **ボタン 2**：SoftBank メール
- **ボタン 3**：カメラ
- **ボタン 4**：Internet Explorer

2 割り当てたいボタンをタップ→「プログラムの割り当て:」でプログラムを選択

3 「ok」をタップする

補　足

- 設定画面で表示されているアイコンは、お買い上げ時に各ボタンに設定されているプログラムを表しています。
- ボタン3のプログラムを起動する場合は長く（約2秒以上）押します。

音量設定

1 タイトルバーに表示されている音量アイコン（「」、「」、「」）をタップする

2 以下の項目を設定する

- ：タップ音を設定します。
- ：通話音量を設定します。
- **オン／バイブ／オフ**：音／バイブを設定します。

3 音量アイコンをタップする

「入力」について

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」をタップ

2 「入力方法」タブ→「入力方法:」で入力方法を選択

3 「オプション」タブ→入力用の既定ズームや録音形式のオプションを選択

- 「**オプション**」タブで設定した内容はすべての入力や録音に適応されます。

補　足

- 入力パネル切り替え矢印からも入力オプションの変更ができます。

セキュリティ設定

本機を紛失したり盗難にあったときのためにセキュリティの設定をおすすめします。セキュリティを設定すると無断で使用されることを防止できます。

暗証番号（PIN1コード）

お客様のUSIMカードを他の電話機に挿入して無断で使用されることを防止します。

ロック

本機を無断で使用されることを防止します。

暗証番号（PIN1 コード）を設定する

PIN1コードを忘れないように別にメモを取り、他人に知られないように保管してください。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

1 **Today画面→「スタート」→「電話」→「メニュー」→「オプションの表示...」→「電話」タブをタップ**

2 **「電話使用時に暗証番号(PIN)を要求」のチェックボックスをタップする**

3 **PIN1コードを入力→「入力」→「ok」をタップ**

● PIN1 コードを変更する場合は、「**暗証番号 (PIN) の変更**」をタップします。

4 **「ok」をタップする**

重　要

● 緊急通報する場合は暗証番号の入力は不要です。

ロックを設定する

一定時間使用しない状態、または電源が切れている状態から使用開始するときにパスワードまたは指紋認証を要求させるように設定できます。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ロック」をタップ**

2 **「パスワード入力が必要になるまでの時間」のチェックボックスをタップする**

●パスワード入力が必要になる時間を選択します。

3 **「種類:」で使用したいパスワードの種類を選択する**

4 **パスワードを入力する**

●確認のためもう一度パスワードを入力します。

5 **「ok」をタップする**

重　要

● パスワードはメモしておくことをおすすめします。
● パスワードを忘れたら、間違ったパスワードを入力せずに、マスタークリア(5-15ページ)してください。間違ったパスワードを何度も入力すると、操作できなくなります。
● ロックを解除する場合は、パスワード入力画面でパスワードを入力するか、登録した指で指紋センサをなぞります。

パスワードを変更する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ロック」をタップ

●パスワード画面に従い、現在のパスワードを入力するか、指紋認証を行ってください。指紋認証については「指紋を登録する」を参照してください。

2 新しいパスワードを入力する

3 「ok」をタップする

指紋を登録する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「指紋」をタップ

2 登録したい指をタップする

3 指紋センサで指紋を3回読み取る

●登録する指を指紋センサに押し当てスライドさせます。

4 「ok」をタップする

補　足

- 登録した指紋はFingerLauncher(7-12ページ)でも利用できます。

登録された指紋を削除する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「指紋」をタップ

2 ◎で登録されている指のアイコンを選択する

3 「メニュー」→「削除」→「はい」をタップ

4 「ok」をタップする

デバイスのロック

すべてのボタン／タップ操作を無効にすることで、カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。

デバイスをロックする

1 Today画面→「デバイスのロックは解除されています」をタップ

デバイスのロックを解除する

1 Today画面→「ロックの解除」をタップ

2 「ロックの解除」をタップする

スタートメニューの設定

スタートメニューに表示するプログラムを設定することができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「メニュー」をタップ

2 スタートメニューに表示したいプログラムのチェックボックスをタップする

3 「ok」をタップする

補　足

- スタートメニューに表示させるプログラムを7つまで設定することができます。スタートメニューに表示するように設定したプログラムは、Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」の中には表示されなくなります。

「オーナー情報」について

オーナー情報には、お客様自身の情報を入力することができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「オーナー情報」をタップ

2 「オーナー情報」タブで情報を入力する

- 「**メモ**」タブで重要なメモを取ったり、またそのメモ内容を電源を入れたときに表示させることができます。電源を入れたときに表示したい「**オーナー情報**」や「**メモ**」については、「**オプション**」タブで設定することができます。

3 「ok」をタップする

補　足

- 「**オーナー情報**」をToday画面に表示する設定にしている場合、タップすると「**オーナー情報**」を編集できます。

電話設定

メロディ設定

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「電話」タブをタップ

●連絡先に着信音を設定することができます。詳しくは「**連絡先**」（7-8 ページ）を参照してください。

2 「着信パターン:」から設定したい項目を選択する

3 「着信音:」から設定したいメロディをタップする

●着信音右側のボタンをタップすると着信音を試聴できます。

4 「ok」をタップする

補　足

- いろいろな音のタイプを着信音として設定することができます。
- 「**キーパッド:**」でキーパッド音を設定することもできます。

発着信制限

発信と着信を制限することができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ

2 「発着信制限」→「設定の取得...」をタップ

●ネットワークから現在の設定を取得し、設定を変更します。

3 「ok」をタップする

4 発着信制限用暗証番号を入力→「ok」をタップ

●発着信制限用暗証番号（1-21 ページ）の入力を 3 回続けて間違えると、発着信制限サービスの設定変更ができなくなります。

発着信制限のパスワードを変更する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「発着信制限暗証番号」タブをタップ

2 「発着信制限暗証番号の変更」をタップする

3 以前のパスワードと新しいパスワードを入力する

4 確認のため新しいパスワードをもう一度入力する

5 「完了」をタップする

転送電話と留守番電話

かかってきた電話を指定した電話に転送できます。また、留守番電話（ボイスメール）として設定することもできます。留守番電話を設定する場合は、転送の宛先に「**09066517000**」を入力します（2007年8月現在）。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ

2 「自動転送」→「設定の取得...」をタップ

●ネットワークから現在の設定を取得し、設定を変更します。

3 「ok」をタップする

割込通話

通話中に別の相手から電話がかかってきたことを通知することができます。

●割込通話をご利用になるには、別途お申し込みが必要です。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ**

2 **「割り込み通話」→「設定の取得...」をタップ**

●ネットワークから現在の設定を取得し、設定を変更します。

3 **「ok」をタップする**

「**通知する**」に設定すると通話中に電話がかかってきたときに、音声と表示で通知されるようになります。

●通話中の相手を保留にしてあとからかかってきた電話に応答する場合は、を押します。また、相手を切り替えるには「**切り替え**」をタップします。

発信者番号通知

電話をかけるとき、お客様の電話番号を相手に通知するかどうかをあらかじめ設定しておくことができます。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ**

2 **「発信者番号通知」→「設定の取得...」をタップ**

●ネットワークから現在の設定を取得し、設定を変更します。

3 **「ok」をタップする**

センター番号設定

SMSセンター番号と留守番電話（ボイスメール）センター番号を設定できます。ただし、ソフトバンクモバイルより番号変更のお知らせがない場合は変更しないでください。サービスがご利用できなくなります。

間違えて変更してしまった場合は、SMSメッセージサービスセンターは「**+819066519300**」に、ボイスメールは「**1416**」に設定してください。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「サービス」タブをタップ**

2 **「ボイスメールとSMSメッセージ」→「設定の取得...」をタップ**

●ネットワークから現在の設定を取得します。

3 **「ok」をタップする**

固定電話番号設定

USIMカードに登録した相手にだけ電話をかけたりSMSを送信できるように設定できます。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「発信先固定」タブをタップ**

2 **「設定の取得...」をタップする**

3 **「ok」をタップする**

PIN2コードを変更する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「PIN2コード変更」タブをタップ

2 以前のPIN2コードと新しいPIN2コードを入力する

3 確認のため新しいPIN2コードをもう一度入力する

4 「ok」をタップする

ネットワーク

日本でお使いのソフトバンク携帯電話を、電話番号もそのままで海外でご利用いただけます。現在のネットワークを利用できない場合は、別のネットワーク（ローミング）を設定してください。また、ネットワークは手動／自動設定を選択できます。

ネットワークを変更する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」をタップ

2 「ネットワーク」タブをタップする

- **現在のネットワーク：**：現在のネットワークの名称が表示されます。「**ネットワークの登録**」をタップして、別のネットワークを選択することもできます。
- **ネットワークの選択**：お買い上げ時は「**自動**」に設定されています。「**手動**」で設定することもできます。
- **優先するネットワーク：**：ネットワークをタップしたあと、「**上へ移動**」／「**下へ移動**」をタップして優先順位を変更できます。

3 「ok」をタップする

ネットワークモードを設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「モード」タブをタップ

2 設定したいモードを選択する

- **自動**　：自動でネットワークモードを選択します。
- **3G**　：3Gネットワークモードを選択します。
- **GSM**　：2Gまたは2.5Gのネットワークモードを選択します。

3 「ok」をタップする

チャネルを設定する

Today画面→「**スタート**」→「**設定**」→「**個人用**」タブ→「**電話**」→「**チャネル**」タブで表示される機能は国内ではご利用できません。

5

各種設定について

音／通知設定

タップ音、ボタン操作音などを設定することができます。また、メールを受信するときの音など、各プログラムのイベントごとに設定することもできます。各プログラムのイベントについては音の他にメッセージの表示やランプの点滅、バイブの設定を行うことができます。

イベントに音を指定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「音と通知」をタップ

2 「サウンド」タブで、設定したいチェックボックスをタップする

●各種イベントやプログラム用の音を設定します。タッチスクリーンをタップした時の音とボタンを押した時の音は「**大**」／「**小**」から選択します。

3 「ok」をタップする

イベントへの通知を設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「音と通知」をタップ

2 「通知」タブで、「イベント：」ボックスからイベントをタップする

3 設定したいチェックボックスをタップする

●音の種類やランプの点滅時間を設定することもできます。イベントによっては設定できない場合もあります。

4 「ok」をタップする

補　足

● 「**ActiveSync:同期開始**」や「**電話：着信通知**」などのイベント音を好きな音や曲に変更することができます。ただし、イベントによっては、音や曲が終了するまで止まらない場合があります。

Today 画面の設定

以下のファイル形式でToday画面をカスタマイズすることができます。

●画像（.jpg、.gif）
●画像、配色やレイアウトが入っているパッケージファイル

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「Today」をタップ

2 「デザイン」タブで、Today画面で使いたいテーマをタップする

補　足

- 画像をActiveSyncでパソコンから本機にコピーできます。
- 「**画像とビデオ**」からもToday画面の背景を設定できます。詳しくは「7 アプリケーションとマルチメディアについて」の章を参照してください。

画像を背景に設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「Today」をタップ

2 「デザイン」タブ→「この画面を背景に使用する」のチェックボックスをタップ→「参照」→◎で画像ファイルを選択

3 選択した画像ファイルの名前をタップし、「ok」をタップする

予定表を表示させる

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「Today」→「アイテム」タブ→「予定表」→「オプション...」をタップ

2 オプション画面で次の順にタップする

●次の予定だけを表示する場合は「**次の予定のみ**」をタップします。
●済んでいない予定をすべて表示する場合は「**近い将来の予定**」をタップします。
●今日のすべての予定（済／未の両方）を表示する場合は「**終日イベントを表示する**」のチェックボックスをタップします。

3 「ok」をタップする

仕事を表示させる

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「Today」→「アイテム」タブ→「仕事」→「オプション...」をタップ

2 オプション画面で次の順にタップする

●「**表示する仕事**」の表示させたい項目のチェックボックスをタップします。
●表示したい分類項目がある場合は「**分類項目:**」を選択しタップします。

3 「ok」をタップする

TV コール設定

TVコールで表示させる画像などを設定できます。TVコールのサービスについては2-6ページを参照してください。

TV コールを設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「TVコール」をタップ

2 「保留」タブをタップする

- TV コールを保留するときの画像を設定できます。「**デフォルトアイコン**」か「**カスタムイメージ**」を選択します。

3 「代替画像」タブをタップする

- TV コール着信時に相手に代替画像を送信する場合は、「**TV コール応答時に代替画像を送信する**」チェックボックスをタップし、「**デフォルトアイコン**」か「**カスタムイメージ**」を選択します。

4 「サービス」タブをタップする

- TV コールのサービスの設定ができます。リストから選択したあと「**設定の取得...**」をタップし、対応のアイテムを設定します。

5 「ok」をタップする

「バージョン情報」について

OS のバージョンを確認する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「バージョン情報」をタップ

2 「バージョン」タブをタップする

- バージョン、ハードウェアの情報を確認できます。

3 「ok」をタップする

デバイス ID を変更する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「バージョン情報」をタップ

2 「デバイスID」タブをタップする

- デバイス ID に関する説明と利用方法が表示されます。

3 「デバイス名:」フィールドにIDを入力する

- 必要があれば「**説明：**」フィールドにも入力します。

4 「ok」をタップする

補 足

- デバイス名は、英字のA～Z、数字の0～9、アンダーバー、ハイフンを含む文字で始めます。
- 以下の機能を利用するときは、デバイス名により識別されます。
  ・パソコンと同期しているとき
  ・ネットワークに接続されているとき
  ・バックアップから情報を復元するとき
  ・Bluetooth®を使用中のとき
  ・ビームでデータ交換中のとき

バックライト設定

一定の時間が経過したらバックライトを暗くするように設定できます。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「バックライト」をタップ**

2 **「バッテリ」タブをタップする**

●バッテリ使用時にバックライトを消さないようにするか一定の時間が経過したら消えるようにするか設定できます。

3 **「外部電源」タブをタップする**

●外部電源使用時にバックライトを消さないようにするか一定の時間が経過したら消えるようにするか設定できます。

4 **「明るさ」タブをタップする**

●明るさを調整できます。

5 **「ok」をタップする**

「証明書」について

個人の身元を証明する個人証明書や接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「証明書」をタップ**

●それぞれのタブで詳細が確認できます。

日時／アラーム設定

日付と時刻を設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「時計とアラーム」→「時刻」タブをタップ

●**現在地**：自国のタイムゾーン、現在の時刻、日付を設定できます。

●**訪問先**：訪問先の国でのタイムゾーン、現在時刻、日付を設定できます。

2 「ok」をタップする

補　足

- 本機とパソコンを同期した場合、本機で設定している時間はパソコンで設定している時間に更新されます。
- 本機をマスタークリアした場合は設定解除されます。電源を切る、または電池残量がなくなったときでも設定は保持されます。

アラームを設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「時計とアラーム」→「アラーム」タブをタップ

2 「アラームの詳細」をタップする

●アラーム名を入力します。

3 アラームを鳴らしたい曜日をタップする

4 時間を表示している箇所をタップし、アラーム時刻を設定→「ok」をタップ

5 ベル( )をタップする

●サウンドの種類、ランプの点滅、バイブなどを設定します。「**サウンドを鳴らす**」のチェックボックスをタップすると、横に表示されている設定したいアラーム音を選択できます。

6 「ok」を2回タップする

「カスタマフィードバック」について

カスタマエクスペリエンス向上プログラムに参加するとソフトウェアの使用状況に関する匿名情報がMicrosoftに送られます。この情報を利用して使用状況の傾向とパターンが分析され、ソフトウェアの改善に役立てられます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「カスタマフィードバック」をタップ

2 「フィードバックを送信する」/「フィードバックを送信しない」をタップする

3 「ok」をタップする

重　要

- この機能を利用してもお客様の名前や住所、その他個人情報は収集されません。情報を送ることによって、お客様のソフトウェアに関するデータが変更されることはありません。
- 情報はGPRS接続(モデム接続)、Wi-Fi接続、USB接続で送信されます。Wi-Fi、USBで接続している場合は通信料はかかりませんが、GPRSで接続している場合は通信料が発生します。

「暗号化」について

メモリカード内にあるデータを暗号化すると情報を保護することができます。メモリカードを本機に挿入すると、データにアクセスできます。暗号化されているため、メモリカードを紛失したり盗まれたりしても、メモリカードのコンテンツに他人がアクセスすることはできません。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「暗号化」をタップ

2 「メモリカード内のファイルを暗号化する」のチェックボックスをタップする

3 「ok」をタップする

重　要

- 暗号化するキーを知っている人であればカードに入っている情報を解読し、アクセスすることができます。

「エラー報告」について

エラー報告とは本機からWindows Mobileソフトウェアを運営するプログラムのエラーの原因究明をするテクニカルサポートグループにデータを送信するプログラムです。
エラー報告を有効にするとエラーを発見するたびにテキストファイルが作られ、テクニカルサポートに配信されます。プログラムでエラーが起きると、エラー報告が自動的に始まります。Microsoftが受け取る情報はMicrosoftのプログラミンググループによって使用されます。

エラー報告をオン／オフする

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「エラー報告」をタップ

2 「エラー報告を有効にする」／「エラー報告を無効にする」をタップする

3 「ok」をタップする

重 要

- この機能を利用してもお客様の名前や住所、その他個人情報は収集されません。情報を送ることによって、お客様のソフトウェアに関するデータが変更されることはありません。
- 情報はGPRS接続(モデム接続)、Wi-Fi接続、USB接続で送信されます。Wi-Fi、USBで接続している場合は通信料はかかりませんが、GPRSで接続している場合は通信料が発生します。

External GPS 設定

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「External GPS」をタップ

2 「プログラム」タブで、電話機がGPSデータを取得するのに使用するポートを選択する

3 「ハードウェア」タブで、GPSデバイスを接続するハードウェアポートとボーレートを選択する

4 「アクセス」タブで、「GPSを自動的に管理する(推奨)」のチェックボックスをタップする

- 「**GPS を自動的に管理する(推奨)**」を実行させることをおすすめします。Windows Mobile は GPS デバイスへのアクセスを管理し、複数のプログラムが同時に GPS データを取得できるようにします。

5 「ok」をタップする

「マスタークリア」について

マスタークリアをすると、お買い上げ時の設定に戻ります。すべてのユーザーデータと設定はフォーマットされます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「マスタークリア」をタップ

2 「コード:」フィールドにコードを入力し、「リセット」をタップする

マスタークリア後、自動的に再起動します。

「メモリ」について

本機を最大限活用するには、十分なメモリ容量が必要です。メモリの空き容量が少なくなると、連絡先などを登録することができなくなります。

メモリの詳細を確認する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」をタップ

- 「**メイン**」タブ　:「**データ記憶用**」と「**プログラム実行用**」のメモリの詳細を確認できます。
- 「**メモリカード**」タブ：メモリカードの空き容量を確認できます。

重　要

- データ記憶用メモリの空き容量が200KB以下になると、アプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。不要なファイルを削除してください。

プログラムを終了する

メモリの確保のために、実行中のプログラムを終了することができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」→「実行中のプログラム」タブをタップ

2 「実行中のプログラム一覧」で閉じたいプログラムをタップする

3 「終了」／「すべて終了」をタップする

- 「**すべて終了**」をタップするとすべてのプログラムを中止します。

補　足

- プログラムを復帰させる場合は、復帰させるプログラムをタップし、「**切り替え**」をタップします。

パワーマネージメント設定

電池パックの充電残量を確認したり、電池の消耗を節約する設定ができます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「パワーマネージメント」をタップ

●「**バッテリ**」タブで電池パックの状態を確認できます。
●「**詳細設定**」タブで以下の項目を調整することができます。
・**バッテリ使用時：**：「**次の時間経過後、スリープモードにする**」のチェックボックスをタップし、スリープモードになるまでの時間を選択します。
・**外部電源使用時：**：「**次の時間経過後、スリープモードにする**」のチェックボックスをタップし、外部電源を使用しているときにスリープモードになるまでの時間を選択します。
●「**Wi-Fi**」タブでスリープモードになったときWi-Fi接続を切断するかしないかを設定できます。

2 「ok」をタップする

地域設定

数値、通貨、時刻や日付の表示スタイルを指定できます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「地域」をタップ

●現在地を設定します。

2 タブ(「数値」、「通貨」、「時刻」、「日付」)をタップ→各詳細を設定

3 「ok」をタップする

プログラムの削除

あとからインストールしたソフトウェアプログラムを削除できます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「プログラムの削除」をタップ

2 「データ記憶用メモリにあるプログラム」から削除するプログラムをタップする

3 「削除」をタップする

重　要

● お買い上げ時に登録されているプログラムは削除できません。

画面調整

画面を調整する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「画面」をタップ

2 以下の操作を行う

- 「**全般**」タブ　　　：画面の向きの調整／タッチスクリーンの補正をします。
- 「**文字サイズ**」タブ：文字サイズを調整できます。「**例：**」には文字サイズの例文が表示されます。

3 「ok」をタップする

スクロール設定

リストをスクロールするときの速さを設定できます。

スクロールの速さを調整する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボタン」→「上／下コントロール」タブをタップ

●ハイライト移動開始までの待ち時間：：
ポインターをドラッグしてスクロール反応時間を調整します。

●ハイライトの移動速度：：
ポインターをドラッグしてスクロール移動時間を調整してください。

2 「ok」をタップする

Windows Update 設定

Microsoftのプログラムを更新する機能です。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「Windows Update」をタップ

- 初めて起動した場合は、セットアップを行います。画面の指示に従い設定してください。
- 「**メニュー**」→「**スケジュールの変更**」で「**自動**」更新と「**手動**」更新の選択ができます。

重　要

- 情報はGPRS接続(モデム接続)、Wi-Fi接続、USB接続で送信されます。Wi-Fi、USBで接続している場合は通信料はかかりませんが、GPRSで接続している場合は通信料が発生します。

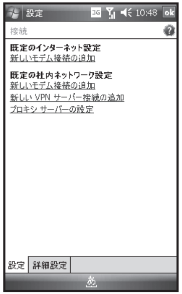
インターネット接続

SSL／TLS について

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL ／ TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認もできます（5-11ページ）。

SSL ／ TLS利用に関するご注意
セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL ／ TLSを利用するものとします。
お客様自身によるSSL ／ TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、グローバルサイン株式会社、RSA セキュリティ株式会社は、お客様に対しSSL ／ TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

本機はワイヤレスLANや携帯電話ネットワークを介してインターネットに接続できます。ワイヤレスLANのエリア外で接続できない場合は、パケット通信によりインターネットや社内ネットワークに接続することができます。
接続設定グループには「**既定のインターネット設定**」と「**既定の社内ネットワーク設定**」の2つがあります。
「**既定のインターネット設定**」はインターネットに接続するための設定で、「**既定の社内ネットワーク設定**」はプライベートネットワークや社内ネットワークに接続するときに使用します。



重　要

- HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)対応のエリア内では、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps の高速通信を行うことができます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

GPRS接続

GPRS接続の設定に必要な情報については、ご契約のサービスプロバイダに確認してください。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」をタップ

2 設定するグループの「新しいモデム接続の追加」をタップする

3 「接続名:」を入力する

4 「モデムの選択:」→「移動体通信網(GPRS)」→「次へ」をタップ

5 「アクセスポイント名」を入力→「次へ」をタップ

6 必要な情報を入力する

7 詳細を設定する場合は、「詳細設定...」をタップして以下の情報を入力する

●「**TCP／IP**」タブで以下を設定できます。

・**サーバー割り当てのIPアドレスを使用する**：自動的に指定されたIPアドレスを使用します。

・**指定したIPアドレスを使用する**：IPアドレスを手動で入力します。

・**Slipを使用する**：使用する場合は、チェックボックスをタップします。

・**ソフトウェア圧縮を使用する**：使用する場合は、チェックボックスをタップします。

・**IPヘッダー圧縮を使用する**：使用する場合は、チェックボックスをタップします。

●「**サーバー**」タブで以下を設定できます。

・**サーバー割り当てのネームサーバーアドレス**：自動的に指定されたアドレスを使用する場合は、タップします。

・**指定されたサーバーアドレス**：手動で指定する場合は、プライマリDNS、セカンダリDNS、プライマリWINS、セカンダリWINSを入力します。

8 「ok」→「完了」をタップする

●本機能はインターネットに接続する際に必要となります。

GPRS認証

GPRS認証方法を選択できます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「GPRS Settings」をタップ

2 「CHAP」／「PAP」→「ok」をタップ

ダイヤルアップ接続

ダイヤルアップ接続の設定に必要な情報については、ご契約の各サービスプロバイダに確認してください。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」をタップ

2 設定するグループの「新しいモデム接続の追加」をタップする

3 「接続名:」を入力する

4 「モデムの選択:」から設定する項目をタップ→「次へ」をタップ

5 ダイヤル番号を入力→「次へ」をタップ

6 必要な情報を入力する

7 「完了」をタップする

プロキシ接続

サービスプロバイダの契約によっては、インターネットもしくはWAPサービスにアクセスするためにプロキシ接続の追加が必要になる場合があります。プロキシ接続に必要な情報については、ご契約の各サービスプロバイダに確認してください。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」をタップ

2 既存の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップする

3 「このネットワークをインターネットに接続する」のチェックボックスをタップする

4 「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」のチェックボックスをタップする

5 「プロキシサーバー:」を入力する

6 「ok」をタップする

VPN接続

VPN接続の設定を行う場合は、先にGPRS接続の設定を行ってください。GPRS接続を利用して、VPN接続で社内ネットワークに接続することができます。VPN接続を設定する場合は、必要な情報をすべて取得してください。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」をタップ**

2 **既定の社内ネットワーク設定の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする**

3 **以下の情報を入力→「次へ」をタップ**

- **名前：** ：接続名を入力します。
- **ホスト名／IP：** ：VPN サーバー名を入力します。
- **VPN の種類：** ：VPN の種類を選択します。「**IPSec ／ L2TP**」を選択した場合は「**このデバイスの証明書**」を選択します。

4 **必要な情報を入力する**

5 **「完了」をタップする**

特定のネットワーク接続を設定する

特定のネットワークに接続する場合に、接続方法を指定します。

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」をタップ**

2 **既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップする**

3 **「このネットワークをインターネットに接続する」のチェックボックスをタップする**

4 **「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」のチェックボックスをタップする**

5 **「詳細設定...」をタップする**

- 変更したい希望のプロキシの種類をタップし、必要な情報を入力してください。

6 **「ok」を2回タップする**

補　足

- WAPネットワークへの接続も同じように選択できます。
- バーチャルプライベートネットワーク接続を使用する場合は、社内ネットワーク接続を使用します。

Bluetooth® 設定

Bluetooth®にはオン、オフ、検出の3つのモードがあります。Bluetooth®がオンに設定されているとき、登録されているデバイスに接続されます。ただし、接続中は新しいデバイスを検出することはできません。検出モードは、Bluetooth®がオンに設定されているときに実行できるモードで、通信範囲内の新しいデバイスから本機を検出し、データを送受信することができます。

Bluetooth®のオン／オフ設定

お買い上げ時はオフに設定されています。
Bluetooth®は電源が切れた状態ではご利用できません。
Bluetooth®のオン／オフの設定は電源を切っても変更されません。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」をタップ

2 「モード」タブ→「Bluetoothをオンにする」のチェックボックスをタップ

●オフにする場合は、チェックボックスのチェックをはずします。

3 「ok」をタップする

Bluetooth®パートナーシップ

パートナーシップをする前に

●本機とこれから接続しようとしているデバイスが、通信範囲内にあることを確認してください。
●本機のBluetooth®をオンに設定し、接続しようとしているデバイスを検出モードにします。

Bluetooth®パートナーシップを確立する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「新しいデバイスの追加...」をタップ

●デバイスを検索して、リスト表示します。

2 接続したいデバイスをタップ→「次へ」をタップ

3 パスコードを使用する場合（セキュリティ保護のために推奨します）は、1～16文字の英数字を入力→「次へ」をタップ

4 接続するデバイスに同じパスコードを入力する

Bluetooth®パートナーシップを終了させる

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「デバイス」タブをタップ

2 終了したいデバイスをタップアンドホールド→「削除」→「はい」をタップ

他のデバイスから本機を検出する

以下の項目を実行する場合は、検出モードにしてください。
- ●データを受信する場合
- ●他のデバイスから検出されたい場合
- ●インターネット共有などのサービスを他のデバイスに提供する場合

他のBluetooth®デバイスから本機を検出できるように設定する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「モード」タブをタップ

2 「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」のチェックボックスをチェックする

3 「ok」をタップする

●他のデバイスから本機を検出することができます。

Bluetooth®パートナーシップを受諾する

1 Bluetooth®をオンに設定し、他のデバイスから検出されるようにする

2 他のデバイスを受諾するプロンプトが出たら「はい」をタップする

3 他のデバイスと同様のパスコードを入力し、画面の指示に従って操作する

●パートナーシップが確立され、データ交換を行うことができます。

発信Bluetooth®COMポートを設定する

Bluetooth®対応デバイスでもプログラムによってはシリアルCOMポートを利用しなければ通信できない場合があります。その場合は、バーチャルCOMポートの設定を行ってください。設定が完了したら、このバーチャルポートはどのCOMポートでも使用することができます。バーチャルCOMポートはGPS受信に接続したり、Bluetooth®対応プリンターに接続するときに使用します。
新しい発信ポートアイテムは、1つ以上のBluetooth®接続されたデバイスがシリアル（COM）接続をサポートしているときだけ利用できます。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「COMポート」タブ→「新しい発信ポート」をタップ

2 追加したいデバイスをタップ→「次へ」をタップ

3 リストから数字がつけられたCOMポートをタップする

●Bluetooth® パートナーシップされているデバイスのみと接続するためにこの COM ポートを使用する場合は、「**セキュリティで保護された接続**」ボックスにチェックを入れてください。

4 「完了」をタップする

ビームの設定

ビームとは、Bluetooth®、赤外線接続で2つのデバイスをデータ通信させることができる機能です。

ビームでデータ通信をする

予定表、連絡先、仕事、画像、ビデオなどのファイルやデータを他のデバイスにデータ通信することができます。

1 データ通信をしたい項目(アポイントがある予定表、作業予定の仕事など)をタップする

2 「メニュー」をタップ →ビームしたいメニューアイテムをタップ

3 データ通信したいデバイスをタップする

ビームの受信設定

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ビーム」→「すべての着信ビームを受信する」のチェックボックスをタップ

●着信ビームを受信しない場合は、チェックをはずしておきます。

2 「ok」をタップする

ビームでデータを受信する

Bluetooth®で受信する

1 Bluetooth®設定内で「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」の設定がされていること、および、本機が他のデバイスの通信範囲内にあることを確認する

2 データを受信すると、通知されます

●通信を切断する場合は、「**キャンセル**」をタップします。

3 データを受信し、保存する場合は「はい」を、破棄する場合は「いいえ」をタップする

赤外線で受信する

1 本機の赤外線ポートと他のデバイスの赤外線ポートを近づけまっすぐ向き合うようにする

2 データを受信すると、通知されます

●通信を切断する場合は、「**キャンセル**」をタップします。

3 データを受信し、保存する場合は「はい」を、破棄する場合は「いいえ」をタップする

ワイヤレスLANのシグナルを確認する

Wi-Fi接続を始める前に、ワイヤレスLANとアクセスしているか確認してください。以下の3 つの画面から現在のワイヤレス接続の状態を確認することができます。

●Today画面　：ワイヤレスLANネットワークに接続している場合は、ワイヤレスLAN接続アイコンが画面上部に表示されます。

●ワイヤレスマネージャ画面
：現在の接続状態とそれぞれ特定のワイヤレスチャンネルの電波状態が表示されます。

●Wi-Fi画面　：利用できるワイヤレスネットワークを表示し、利用可能であれば新しく追加することができます。

補　足

- ワイヤレスLAN(Wi-Fi)はワイヤレスチャンネル設定の初期設定です。ただし、Wi-Fiのシグナルが発見されなかった場合は、GPRSが設定されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 **Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ワイヤレスマネージャ」をタップ**

現在の Wi-Fi 状態が確認できます。

2 **「Wi-Fi」をタップする**

●設定できるネットワークが表示されます。



3 **ネットワークをタップし、「OK」をタップする**

4 **「インターネット設定(またはVPN経由)」または「社内ネットワーク設定」をタップし、「接続」をタップする**

重　要

- 電源を切るとWi-Fi機能はオフに設定されます。
- TVコールを着信するとWi-Fi機能はオフに設定されます。

ネットワークアダプタを構成する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ワイヤレスマネージャ」をタップ

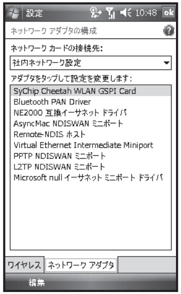
2 「メニュー」→「Wi-Fi設定」をタップ

● Wi-Fi ネットワークに接続している場合は、「**ネットワークアダプタ**」タブをタップします。

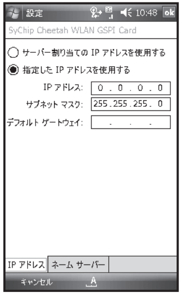
3 「ネットワーク カードの接続先:」から接続先を選択する

●インターネットに接続する場合は「**インターネット設定**」、社内ネットワークに接続する場合は「**社内ネットワーク設定**」を選択します。

4 構成したいアダプタをタップする



5 「IPアドレス」タブ→「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」／「指定したIPアドレスを使用する」をタップ



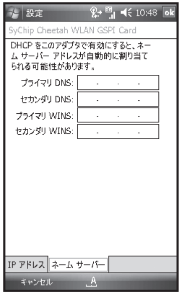
補 足

● Today画面→「**スタート**」→「**設定**」→「**接続**」タブ→「**Wi-Fi**」をタップからもネットワークアダプタの構成を行えます。

6

接続について

6 「ネームサーバー」タブ→「プライマリDNS」／「セカンダリDNS」／「プライマリWINS」／「セカンダリWINS」を指定



7 「ok」をタップする

重　要

- 複数のネットワークを発見すると、画面下に希望の接続を選択するリストが表示されます。

「ワイヤレスマネージャ」について

ワイヤレスマネージャは「**発信**」「**Bluetooth**」「**Wi-Fi**」機能を簡単にオン／オフにすることができます。

ワイヤレスマネージャを始める

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ワイヤレスマネージャ」をタップ

- 利用可能な場合はアイコンが白色になり、利用できない場合はアイコンは黒色になり「×」が表示されます。

電話機能をオン／オフにする

電話機能をオフにできます。電波アイコンの隣に「×」が表示される時は「**圏外**」となり、電話の発着信やデータネットワークを使用することができません。

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ワイヤレスマネージャ」をタップ

2 「発信」をタップする

電話機能がオフになります。

- 「**発信**」を再度タップすると、電話機能はオンになります。

USB でパソコンと接続する

1 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブをタップ

2 「PCへのUSB接続」をタップする

3 「高度なネットワーク機能を有効にする」チェックボックスをタップする

4 「ok」をタップする

USB マスストレージ設定

USBケーブルで本機とパソコンを接続すると、メモリカード内のデータをパソコンで読み書きできます。

1 本機にメモリカードを挿入する

2 Today画面→「スタート」→「設定」→「接続」タブをタップ

3 「USBマスストレージ」をタップする

4 「USBマスストレージ機能を使用可能にします」のチェックボックスをタップする

●ボックスをタップすることにより、パソコンでメモリカードの内容を見ることができます。

5 「ok」をタップする

ゲーム

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ゲーム」をタップ

2 プレイするゲームをタップする

Bubble Breaker

同じ色のバルーン（泡）を消していくゲームです。一度にたくさんのバルーンを消すと、高得点が得られます。

1 同じ色のバルーンが縦／横に並んでいるブロックをタップすると、同時に消せるバルーンが線で囲われ、得点が表示されます

2 もう一度タップすると、線で囲われたバルーンが消えます

●「**メニュー**」→「**元に戻す 移動**」をタップすると、直前に消したバルーンを元に戻すことができます。

3 消せるブロックがなくなるとゲーム終了

●得点が表示されます。もう一度ゲームを始めるには、「**新しいゲーム**」をタップしてください。

補　足

- 「**メニュー**」→「**オプション...**」からサウンド、ゲームのスタイルなど設定することができます。
- 「**メニュー**」→「**成績表**」からゲームの成績を確認できます。

ソリティア

山札よりめくったカードを場札にて整理し、最終的に組札にマークごとに分けてAからKまでを数字順に積み重ねていくゲームです。

1 「カードをめくる」をタップする

2 場札にカードを、赤（ハート／ダイヤ）→黒（スペード／クラブ）と交互に数字の大きいものから順に並べる

3 「A」を組札に移動する

4 組札は同じマークで数字の小さいものから順に並べる

●組札が A から K まで 4 種類（ハート／ダイヤ／スペード／クラブ）並び終えたらゲーム終了です。

補　足

- 「**メニュー**」→「**オプション...**」からゲームルール、カードの模様を変更することができます。

Office Mobile

1 Today画面→「スタート」→「Office Mobile」をタップ

2 以下のアプリケーションをタップする

- Excel Mobile
- PowerPoint Mobile
- Word Mobile

Excel Mobileを利用する

パソコンで作成したワークシートを閲覧したり、編集ができます。Excel Mobileでは、数式やセルコメントなど一部利用できない機能があります。

重　要

- Excelファイルを保存するときに書式などが失われる場合がありますので注意してください。

PowerPoint Mobileを利用する

パソコンで作成したスライドショーのプレゼンテーションファイルを閲覧することができます。
次のデータを閲覧できます。

- Outlook 電子メールからの開封
- 共有ファイルやインターネットからのダウンロード
- メモリカードから本機へのコピー
- パソコンとの同期で取得したプレゼンテーションデータ
- PowerPoint'97以降で作成した.ppt、.ppsファイル
- PowerPoint'97以降で作成したスライドショー

重　要

- PowerPoint Mobileでは、以下の機能は利用できません。
  - ・ノート:スライドに書かれたノートの閲覧。
  - ・スライドの再アレンジや編集:PowerPoint Mobileは閲覧以外できません。
  - ・ファイルフォーマット:PowerPoint'97以前の.pptフォーマットで作成されたファイルや、.htm、.mhtフォーマットで作成されたHTMLファイルの利用。

Word Mobileを利用する

パソコンで作成したワードドキュメントを閲覧したり、編集することができます。Word Mobileでは、変更履歴やパスワード保護など一部利用できない機能があります。

重　要

- ドキュメントデータを保存するときに書式などが失われる可能性があります。.pswファイルはWord Mobileで開けますが、編集後は、.doc、.rtf、.txt、もしくは.dotフォーマットに保存してください。

電卓

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「電卓」をタップ**

●電卓キーや入力パネルに数字を入力することで計算できます。

記号	機能
入力ボックスの右側にある左向き矢印(←)	数桁の数字入力から最後の1桁を消去する
C	現在の計算、もしくは表示されている数字を消去する
MC	メモリを消去する
MR	メモリに保存された数値を表示する
M+	入力値をメモリの数値に加算する
1/x	逆数計算をする
%	パーセント計算をする
√	平方根計算をする
+/-	+から−に、−から+に切り替える

予定表

電子手帳のように使用して予定を整理することができます。予定にはアラームを設定することもできます。また、パソコンのOutlookを使用している場合、パソコンと本機の間で同期することもできます。

新規に予定を入力する

1 **Today画面→「予定表」→「メニュー」→「新しい予定」をタップ**

2 **予定の詳細を入力する**

3 **「ok」をタップする**

補　足

● 終日の予定は、画面最上部の欄に表示されます。

繰り返しある予定を作成する

1 **Today画面→「予定表」をタップ**

2 **繰り返したい予定をタップする**

3 **「メニュー」→「編集」をタップ**

4 **「パターン」をタップ→オプションを選択**

5 **「ok」をタップする**

予定を更新する

1 Today画面→「予定表」をタップ

2 更新する予定をタップする

3 「メニュー」→「編集」をタップ

●繰り返しの予定の中で、現在の予定のみ編集したいときは「**今回のみ**」をタップし、すべての予定を編集したいときは「**すべて**」を選択します。編集を中止する場合は、「**キャンセル**」を選択します。

4 更新したら「ok」をタップする

予定を削除する

1 Today画面→「予定表」をタップ

2 削除したい予定をタップする

3 「メニュー」→「削除」→「はい」をタップ

●繰り返しの予定の中で現在の予定のみ削除したいときは「**今回のみ**」をタップし、すべての予定を削除したいときは「**すべて**」を選択します。削除を中止する場合は、「**キャンセル**」を選択します。

補　足

- 削除を中止する場合は「**いいえ**」を、繰り返しある予定の削除を中止する場合は「**キャンセル**」をタップします。
- パソコンと同期させている場合は、パソコンにある予定も次回同期させたときに削除されます。パソコンと同期させていない場合、本機の予定のみ削除されます。

表示を変更する

1 Today画面→「予定表」→「メニュー」→「ツール」→「オプション...」をタップ

2 以下の操作を行う

●週の最初の曜日を指定するには「**週の最初の曜日**」フィールドで、「**日曜日**」か「**月曜日**」を選択します。

●一週間で何日間を表示するかを指定するには「**週単位の表示**」フィールドで、「**週 5 日表示**」、「**週 6 日表示**」、「**週 7 日表示**」から選択します。

3 「ok」をタップする

アラームの時間を変更する

お買い上げ時、アラームは予定の15分前に通知するように設定されています。

1 **Today画面→「予定表」→「メニュー」→「ツール」→「オプション...」→「予定」タブをタップ**

2 **「新しいアイテムにアラームを設定する」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、時間を変更する**

3 **「ok」をタップする**

本日の予定を確認する

1 **Today画面→「予定表」→「メニュー」→「今日へ移動」をタップ**

●週や月の予定表からは「**メニュー**」→「**表示**」→「**予定一覧**」をタップします。

補　足

● 以前の予定や指定した日付の予定を見る場合、◎を押すか「**メニュー**」→「**指定の日付へ移動**」をタップします。

指定する日時の予定を確認する

1 **Today画面→「予定表」→「メニュー」→「指定の日付へ移動」をタップ**

2 **予定表内の日付をタップする**

1ヶ月の予定を確認する

1 **Today画面→「予定表」→「メニュー」→「表示」→「月」をタップ**

カメラ

本機は、有効画素数197万画素のカメラを搭載しています。本機で画像やビデオを撮影することができます。
カメラ機能を開始するには以下の方法があります。
●本機の側面にあるを長く（約2秒以上）押す。
●Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」→「**カメラ**」をタップする。
●Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」→「**画像とビデオ**」→「**カメラ**」をタップする。

画像を撮る

撮影した画像は.jpgで保存されます。

1 タッチスクリーンに被写体を表示→／◉／を押す

2 （保存）／（送信／削除）をタップする

●撮影した画像は画面左上に表示されるファイル名で保存されます。
●削除する場合は、→「**削除**」→をタップします。

ビデオを撮影する

本機のWindows Media Playerで再生できるビデオを撮影することができます。撮影したビデオは.3gpまたは.mp4で保存されます。

1 本機の側面にあるを長く（約２秒以上）押す

2 →「モード」→「ビデオ」をタップ→タッチスクリーンに被写体を表示→／◉／

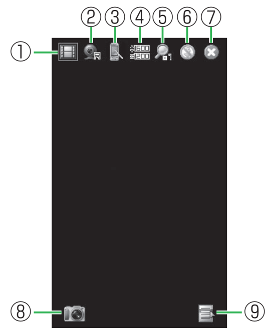
撮影を開始します。
●もう一度／◉／を押すと撮影を停止します。

補　足

● ビデオを撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

カメラ設定メニュー

撮影画面でを押してカメラ設定を行うことができます。また、画面上部のアイコンをタップしてもカメラ設定を行うことができます。



7

アプリケーションとマルチメディアについて

①**モード**　：カメラモードを設定します。

●**フォト**　：「**標準**」（）、「**タイマ**」（）、「**連写**」（）から選択します。

●**ビデオ**（）：ビデオを録画します。

②**メインカメラ**（）／**サブカメラ**（）
：外側／自分側に面しているカメラで画像やビデオを撮影します。

③**横長**（）／**縦長**（）
：画像やビデオを撮影するときに、画面を横長／縦長に変更できます。

④**解像度**（）：撮影する画像サイズを選択できます。画像サイズは、選択しているカメラモード、メインカメラ／サブカメラによって異なります。

⑤**ズーム**（）：ズームのレベルを選択できます。ズームレベルは撮影する画像のサイズによって異なります。

音声録音　：ビデオ撮影するときの音声の録音をオン（）／オフ（）にします。

⑥**フラッシュライト　オン**（）／**オフ**（）
：本体裏側にあるフラッシュライトをオン／オフに切り替えます。

⑦**終了**（）　：カメラを終了します。

⑧**撮影**　：フォト／ビデオを撮影します。

●フォト　：撮影（）

●ビデオ　：撮影（）／停止（）

⑨**詳細設定メニュー**（）

●**アルバム**　：撮影した画像を確認することができます。

●**環境設定**　：現在の光の具合での最適な効果をもたらすようにカメラの色の修正を設定します。「**詳細**」をタップすると手動で設定することができます。

●**効果**　：「**ノーマル**」／「**白黒**」／「**セピア**」／「**寒色**」／「**暖色**」から画像効果を選択できます。

●**オプション**　：以下の項目を設定することができます。

・「**基本設定**」タブ：「**保存先**」／「**フリッカー調節**」／「**フラッシュライトオフ**」／「**撮影後プレビュー**」を設定できます。

・「**標準**」タブ　：「**画質**」／「**解像度**」を設定できます。

・「**タイマ**」タブ　：「**画質**」／「**解像度**」／「**セルフタイマ**」を設定できます。

・「**連写**」タブ　：「**画質**」／「**解像度**」／「**連写回数**」を設定できます。

・「**ビデオ**」タブ　：「**フォーマット**」／「**画質**」／「**解像度**」／「**ビデオの制限時間**」／「**録音**」を設定できます。

●**バージョン情報**　：カメラの情報を表示します。

補　足

- 連写では／／を一度押すだけで連続で撮影します。動いているものを撮影するときに便利です。

保存先を変更する

お買い上げ時は、撮影したすべての画像やビデオは本機のメモリに保存されます。保存先は変更することができます。

1 **メモリカードが本機に挿入されていることを確認する**

2 **本機の側面にある▫を長く(約2秒以上)押す**

3 **▭→「オプション」→「基本設定」タブをタップ**

4 **「保存先」の「メモリカード」をタップする**

カメラを使用する際の注意

- 指紋や油がレンズに付着していると、画像がぼやけてしまうことがあります。レンズ用ティッシュなどでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影の際は、カメラを固定するようにしっかりと持ってください。本機が動いてしまうと画像がぶれて写ることがあります。
- 画像の質に影響するので明るい光源にカメラを向けることは避けてください。
- 撮影するときは、他の方のプライバシーを考慮して撮影してください。

連絡先

連絡先には相手の名前や電話番号、電子メールアドレスなどを登録できます。連絡先には画像や着信音を設定でき、誰から電話がかかってきたのかわかりやすくすることができます。
連絡先には以下の項目を登録できます。

本体：
名前、画像、勤務先、部署、役職、表題、勤務先電話、勤務先FAX、勤務先住所、IM、電子メール、携帯電話、着信音、Webページ、事業所、自宅電話、自宅住所、分類項目、その他の住所、ポケットベル、自動車電話、自宅FAX、会社電話（代）、勤務先電話2、自宅電話2、PHS、IM2、IM3、電子メール2、電子メール3、秘書、秘書の電話、上司、ID番号、アカウント、カスタマー ID、誕生日、記念日、配偶者、子供、メモ

USIMカード：
名前、電話番号

新しい連絡先を作成する

1 **Today画面→「連絡先」→「新規作成」をタップ**

2 **「Outlook 連絡先」／「SIMカード連絡先」をタップする**

3 **新しい連絡先の詳細を入力する**

4 **「ok」をタップする**

補　足

- 連絡先のリストにない人から電話がかかってきたりメールが送られてきたとき、着信履歴や受信メールから「**メニュー**」→「**連絡先に保存**」をタップすることで連絡先に登録することができます。
- USIMカードにも連絡先を保存することができます。お客様のUSIMカードを他の電話機に挿入するとUSIMカードに保存した連絡先を表示することができます。
- 本機に登録済みの連絡先をUSIMカードに保存するときは、USIMカードに保存したい連絡先をタップしてから、「**メニュー**」→「**SIMカードに保存**」をタップします。
- USIMカードの連絡先は電子メールアドレスおよび追加番号をサポートしていません。

連絡先を検索する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 「名前の入力...」をタップする

3 連絡先を検索するため名前の最初の文字を入力する

該当する連絡先リストが表示されます。

補　足

- 名前または会社名で検索できます。

検索アイテムを変更する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 「メニュー」→「表示方法」をタップ

3 「名前」／「勤務先」をタップする

連絡先を確認／編集する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 確認／編集をする連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」をタップ

4 連絡先を編集する

5 「ok」をタップする

確認フィルタを設定する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 「メニュー」→「フィルタ」をタップ

3 設定したいフィルタをタップする

補　足

- すべての連絡先をもう一度表示するには、「**メニュー**」→「**フィルタ**」→「**すべての連絡先**」をタップします。

連絡先を削除する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 削除する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「連絡先の削除」／「SIMカード連絡先の削除」→「はい」をタップ

連絡先に画像を追加する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 画像を追加する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」→「詳細」タブ→「画像」をタップ

4 で追加したい画像を「マイピクチャ」から選択するか「カメラ」を選択して画像を撮る

5 「ok」をタップする

連絡先から画像を削除する

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 画像を削除する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」→「メニュー」→「画像の削除」をタップ

4 「はい」をタップする

連絡先に着信音を設定する

着信音を設定することで、誰から電話がかかってきたかわかりやすくすることができます。

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 着信音を設定する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」→「着信音」→希望の着信音を選択

4 「ok」をタップする

重　要

- ファイルによっては、着信音に設定できない場合があります。

連絡先に分類項目を設定する

分類項目を設定して連絡先を分類することができます。

1 Today画面→「連絡先」をタップ

2 分類項目を設定する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」→「分類項目」をタップ

4 設定する分類項目のチェックボックスをタップする

5 「ok」をタップする

補 足

- 分類項目は「**予定表**」、「**連絡先**」、「**仕事**」で共有されます。分類項目は1つでも予定、連絡先、仕事がある限り分類項目リストの中に残ります。

ファイルエクスプローラ

本機、メモリカードに保存したファイルを確認したり管理することができます。

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ファイルエクスプローラ」をタップ

2 ファイルやフォルダをタップする

メニューアイテムについて

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「ファイルエクスプローラ」→「メニュー」をタップ

●以下の操作を行うことができます。

- **My Documents**：My Document に保存したファイルを表示します。
- **パスを開く**：ファイルを開けるための新しいパスを作成します。
- **送信 ...**：電子メールでファイルを送信します。
- **ファイルをビームする ...**：Bluetooth® や赤外線で連絡先にファイルを送ります。
- **最新の情報に更新**：ドキュメント画面を最新の状態に更新します。
- **すべてのファイルを表示**：すべてのファイルを表示します。
- **新しいフォルダ**：新しいフォルダを作成します。
- **名前の変更**：ファイル名を変更します。
- **削除**：選択したファイルを削除します。

・**編集**　：「**元に戻す**」／「**切り取り**」／「**コピー**」／「**貼り付け**」／「**ショートカットの貼り付け**」／「**すべて選択**」を使用してファイルリストを管理します。

補　足

● S!メールでファイルを送信する場合は、ファイルをタップアンドホールドして表示される「**S!メールで送信**」で送信することができます。

ファイルを分類する

ファイルエクスプローラ画面で分類することができます。画面右上の「**名前**」／「**日付**」／「**サイズ**」／「**種類**」をタップし、分類方法を選択します。

FingerLauncher

FingerLauncherで設定したプログラムは指紋センサを指でなぞると起動することができます。

指紋を登録する

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「FingerLaun...」をタップ**

2 **「オプション」→「メニュー」→「オプション」をタップ**

3 **指紋認証をする指をタップする**

4 **指紋センサで指紋を3回読み取る**

●指を指紋センサに押し当ててスライドさせます。

5 **「ok」をタップする**

補　足

● どの画面からも[,]を長く（約2秒以上）押してFingerLauncherを起動することができます。

指紋認証登録後プログラムを設定する

指紋を保存したあと、各プログラムに指紋認証を設定できます。

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Finger Laun...」→「オプション」をタップ

2 設定したい指をタップする

3 プログラムをタップする

4 「完了」をタップする

補　足

- FingerLauncherからプログラムを起動する場合は、Today画面→「**スタート**」→「**プログラム**」→「**Finger Laun...**」をタップし、設定した指で指紋センサをなぞります。

ヘルプ

1 Today画面→「スタート」→「ヘルプ」をタップ

表示している画面に応じたヘルプが表示されます。

●ヘルプ画面は内容のエリアとナビゲーションツールバーで成り立っています。ヘルプでは以下の機能を利用することができます。

表示	機能
目次	ヘルプコンテンツが表示されます。
検索	ヘルプコンテンツを検索する検索ボックスを開きます。
←（左向き矢印）	以前見たヘルプトピックを表示します。
→（右向き矢印）	以前見たヘルプトピックの次のトピックを表示します。

Internet Explorer

Internet Explorer を起動する

1 Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ

リンクに行く

1 Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ

2 利用できるすべてのリンクを見るために「メニュー」→「お気に入り...」/「履歴...」をタップ

3 希望のリンクをタップする

ウェブページに行く

1 Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ

2 アドレスを入力する

3 サーチアイコン( ) をタップする

ウェブページが開きます。

履歴からウェブページにアクセスする

1 Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ

2 「メニュー」→「履歴...」をタップする

3 希望のウェブページをタップする

お気に入りのウェブページを見る

1 Today画面→「スタート」→「Internet Explorer」をタップ

2 「お気に入り」をタップする

3 希望のウェブページをタップする

ホームを変更する

1 ウェブページを開く

2 「メニュー」→「ツール」→「オプション...」→「全般」タブをタップ

3 希望のホームをタップする

●**現在のページを使用**：表示されているページをホームに設定します。
●**既定のページを使用**：ホームをお買い上げ時の状態に戻します。

4 「ok」をタップする

ウェブページの文字サイズを変更する

1 ウェブページを開く

2 「メニュー」→「表示」→「文字サイズ」をタップ

3 希望の文字サイズをタップする

ウェブページにある画像を表示／非表示する

1 ウェブページを開く

2 「メニュー」→「表示」→「画像を表示する」をタップ

履歴／ Cookie ／テンポラリーファイルを削除する

インターネットを使用すると保存容量を消費するデータを徐々に蓄積していきます。常に保存容量をある程度確保するために、定期的に不要なファイルを削除することをおすすめします。

履歴やテンポラリーファイルを削除する

1 ウェブページを開く

2 「メニュー」→「ツール」→「オプション...」→「メモリ」タブをタップ

3 「履歴のクリア」／「ファイルを削除」をタップする

4 「ok」をタップする

Cookieを削除する

1 ウェブページを開く

2 「メニュー」→「ツール」→「オプション...」→「セキュリティ」タブをタップ

3 「Cookieをクリア」をタップする

4 「ok」をタップする

Cookieとセキュリティの設定を変更する

Internet Explorer Mobileはセキュアソケットレイアー（SSL）を使用したプロトコルをサポートしています。SSLを使用した接続は個人的な情報をより安全に送信することができます。
Cookieとはお客様の個人情報やお好みの情報を含む小さなファイルです。Cookieを利用してお客様の必要な情報だけを集めてページを作成することができます。作成したページは本機に保存されます。

1 **ウェブページを開く**

2 **「メニュー」→「ツール」→「オプション...」→「セキュリティ」タブをタップ**

3 **希望のオプションのチェックボックスをタップ→「ok」をタップ**

ウェブページのリンクを送信する

1 **送信したいウェブページを開く**

2 **「メニュー」→「ツール」→「リンクを送る...」をタップ**

3 **メッセージアカウントをタップする**

メッセージ本文にウェブアドレスが書き込まれた新しいメッセージが作成されます。

補　足

- .wavファイルのみオンライン再生がサポートされています。

Java

本機は、モバイルデバイス用に開発されたJava（MIDlets）をサポートしています。Javaにはゲームやユーティリティーなどがあります。

Java を開始する

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Java」をタップ**

●メイン画面が表示されます。「**メニュー**」をタップすると以下の操作を行うことができます。
・アクション
・インストール
・新規作成
・すべてアンインストール
・証明書
・オプション
・バージョン情報
・終了

Java をインストールする

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Java」→「メニュー」→「インストール」をタップ**

● Java（MIDlet）のインストール方法を選択します。

・ウェブサイトからインストールする場合は「**ブラウザ**」をタップします。ブラウザ(お買い上げ時は Opera)が開きます。ウェブページでファイルを選択すると、Java の中に保存されます。

・特定の URL からインストールする場合は「**URL**」をタップします。URL が入力されている場合は、URL を選択し「**実行**」を選択します。URL が入力されていない場合は、「**追加**」を選択し URL を入力します。

・本機からインストールする場合は「**ローカルファイル**」を選択します。マイデバイスフォルダおよびメモリカードにまだインストールされていない Java（MIDlet）が表示されます。インストールするものをリストから選択します。

Jad ／ Jar を選択する

インストールしようとしているJava（MIDlet）の詳細が表示されます。インストールを続けるには「**続ける**」をタップします。ファイルがダウンロードされると、保存先を選択します。ひんぱんに使用する場合は、本機の基本フォルダ「**root**」を選択することをおすすめします。

Java（MIDlet）を始動する

インストールが完了すると、Javaメイン画面にインストールされたファイルが表示されます。希望のJava（MIDlet）までスクロールし、◉を押すと、Java（MIDlet）を開始できます。

Java（MIDlet）を終了する

1 **Java(MIDlet)画面→「メニュー」→「終了」をタップ**

メモ

メモ、質問、通知、To Doリスト、会議メモを手書きや文字入力または音声録音で記録することができます。

メモを作成する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「新規」をタップ

2 テキスト入力方法を変更する場合は、入力パネル表示アイコンをタップする

3 メモを入力する

4 「ok」をタップする

メモを録音する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「メニュー」→「録音ツールバーの表示」をタップ

2 録音ボタン(●)をタップする

録音が開始されます。

●停止ボタン（■）をタップすると録音を停止します。

補　足

● メモ作成画面で、録音ツールバーを表示して録音をすると、メモに録音データを貼り付けることができます。

メモを描画する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「新規」をタップ

2 「メニュー」→「描画」をタップ

●描画の途中で「**メニュー**」→「**描画**」をタップするとテキストを入力できます。

3 描画が終了したあと→「ok」をタップ

メモのオプションを設定する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「メニュー」→「オプション...」をタップ

2 変更したいアイテムをタップする

- 既定のモード：「**手書き**」／「**入力**」
- 既定のテンプレート：「**To Do リスト**」／「**メモ**」／「**会議メモ**」／「**電話メモ**」／「**白紙のメモ**」
- 保存先：「**メイン メモリ**」／「**Storage Card**」
- 録音ボタンを使用したとき：「**メモに切り替える**」／「**プログラムを切り替えずに録音する**」

3 「ok」をタップする

メモを確認する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「メモ」をタップ

2 確認したいメモのタイトルをタップする

Opera Browser

Opera Browserを利用してウェブページを閲覧することができます。Opera Browserでは、タブで複数のウェブページを切り替えて表示することができます。

Opera Browser を起動する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Opera Browser」をタップ

2 希望のリンクをタップする

Opera Browser のメニューアイテムについて

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Opera Browser」→「メニュー」をタップ

●以下の操作を行うことができます。

・**タブ操作**　：タブを管理します。
・**ディスプレイ**　：Windows の画面を変更します。
・**ツール**　：ブックマークや便利な情報の表示を管理します。
・**終了**　：Opera Browser を終了します。

Picsel Viewer

Picsel Viewerを利用して文書（PDFファイルなど）を閲覧することができます。圧縮ファイル（ZIPなど）からも閲覧することができます。

Picsel Viewer を起動する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Picsel Viewer」をタップ

2 閲覧したいファイルをタップする

Picsel Viewer 画面のメニューアイテムについて

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Picsel Viewer」をタップ

2 閲覧したいファイルをタップ→「メニュー」をタップ

● 以下の操作を行うことができます。

- **ファイルを開く**：選択したファイルを開きます。
- **最近のドキュメント**：最近選択したファイルのリストを表示します。
- **ページ**：ページの表示方法を設定します。
- **設定**：履歴のクリア、ファイルの関連付け、バージョン情報の表示を行います。
- **終了**：Picsel Viewer を終了します。

画像とビデオ

画像やビデオ撮影できるデジタルカメラが内蔵されています。画像撮影、ビデオ撮影についての詳細は、「カメラ」を参照してください。

本機が対応している画像やビデオの拡張子は、gif、png、bmp、jpg、3gp、mp4、wmv、となります。

画像とビデオを確認する

「画像とビデオ」を利用して、本体やメモリカードに保存した画像やビデオを閲覧できます。

また、Today画面の背景に画像を設定したり、画像やビデオを送信することもできます。

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「画像とビデオ」をタップ

2 画像やビデオが保存されているフォルダを選択する

3 画像やビデオをタップする

画像やビデオが表示されます。

画像とビデオのメニューアイテムについて

「画像とビデオ」内から◎で画像選択中、または画像表示中に「**メニュー**」をタップすると以下の操作を行うことができます。

- **送信 ...**※1　：電子メールで画像を送信します。
- **ビーム ...**※1／**画像のビーム ...**※2
　：Bluetooth® や赤外線で画像を転送します。
- **連絡先に保存 ...**：画像を連絡先に登録することができます。
- **保存**※2　：
　・**名前を付けて保存**：画像に名前を付けて保存します。
- **削除**※1　：選択した画像を削除します。
- **編集**　：画像を編集します。
- **プロパティ**　：選択した画像の名前変更や詳細確認ができます。
- **スライドショーの再生**
　：フォルダ内のすべての画像を切り替えて表示することができます。
- **[Today] の背景に設定する ...**
　：選択した画像を Today 画面の背景に設定します。
- **オプションの表示 ...**※1／**オプション ...**※2：
　・「**全般**」タブ：画像のサイズと回転方向を設定できます。
　・「**スライドショー**」タブ：スライドショーの設定を変更します。
- **スペースに送信**：選択した画像を Windows Live スペースのアルバムに送信します。
- **ズーム**※2　：画像をズームイン、ズームアウトします。

※ 1 画像選択中のみ表示されます。
※ 2 画像表示中のみ表示されます。

画像をリスト表示する

「画像とビデオ」内で、画面左上の矢印をタップしフォルダを選択します。

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「画像とビデオ」をタップ**

2 **画面右上の矢印をタップし、希望の分類アイテムをタップする**

- 「**名前**」／「**日付**」／「**サイズ**」に分類できます。

画像を送信する

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「画像とビデオ」→◎で画像を選択**

2 **「メニュー」→「送信...」をタップ**

3 **送信方法を選択する**

4 **「宛先」を入力→「送信」をタップ**

- 追加オプションのリストを確認するには「**メニュー**」をタップします。

検索

本機のMy Documentsフォルダまたはメモリカードに保存してあるファイルなどを検索できます。
アイテムのキーワードもしくはファイル名で検索します。

1. **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「検索」をタップ**
2. **「検索:」の欄に検索したいファイル名、単語、その他の情報を入力する**
   - 以前に検索した場合、「**検索:**」にある矢印をタップすると検索履歴を見ることができます。
3. **「種類:」でデータの種類を選択して検索範囲を絞る**
4. **「検索」をタップする**
5. **結果リストから希望のアイテムをタップする**

補足

- My Documentsフォルダとそのサブフォルダは同じ検索エリアに含まれます。
- メモリカードから発見された結果は、アイコンで表示されます。

SIM Manager

連絡先の情報を本機からUSIMカードに、またUSIMカードから本機にコピーすることができます。

1. **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「SIM Manager」をタップ**
2. **確認したい連絡先のアイコン(本機／USIMカード)をタップする**

   連絡先のリストが表示されます。
   - 「**メニュー**」をタップすると以下の操作を行うことができます。
     - **選択範囲削除**：選択された連絡先のデータを削除します。
     - **本体へコピー／SIM へコピー**：選択した連絡先のデータを USIM カードから本体へ／本体から USIM カードへコピーします。
     - **オプション**：USIM カードから本体へ連絡先をコピーするときの登録先を設定します。
     - **全選択**：すべての連絡先データのチェックボックスにチェックを入れます。
     - **全選択解除**：すべての連絡先データのチェックボックスのチェックをはずします。

重要

- 本体に登録されている連絡先をSIM Managerから削除しようとすると、項目によっては削除されない場合があります。その場合は、連絡先を開いてから削除(7-10ページ)してください。

仕事

仕事の予定を入力して、優先度や進捗状況などを管理できます。また、各仕事へのアラームを設定することもできます。

新規に仕事を入力する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 「ここをタップして新しい仕事を追加」をタップし、仕事名を入力する

3 タッチスクリーンの真ん中をタップする

●新しい仕事アイテムがリストに追加されます。

補　足

- 本機とパソコンで情報を同期することができます。本機とパソコンの両方のデバイスに仕事のリストを最新の状態で保つことができます。
- パソコンで作成した仕事にアラームを設定し、その仕事を本機と同期すると、アラームはパソコンで設定した時間に作動します。

仕事の設定を変更する

新しい仕事を作成すると、各項目は以下のように設定されます。

●**件名**：件名なし
●**優先度**：標準
●**進捗状況**：作業中
●**開始日**：なし
●**期限**：なし
●**パターン**：1回
●**アラーム**：なし
●**分類項目**：分類項目なし...
●**秘密度**：標準

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 変更したい仕事をタップ→「編集」をタップ

3 変更が終了→「ok」をタップ

仕事を削除する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 ◎で仕事を選択→「メニュー」→「仕事の削除」→「はい」をタップ

●仕事をタップ→「**メニュー**」→「**削除**」をタップしても、削除できます。

仕事を「作業の終了」にする

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 ◎で仕事を選択→「作業の終了」をタップ

「作業の終了」を「作業中」に変更する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 ◎で仕事を選択→「作業中」をタップ

仕事の表示方法

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「仕事」をタップ

2 仕事リストで以下のいずれかの操作を行う

●リストを分類する場合は、「**メニュー**」→「**並べ替え**」をタップし、分類オプションを選択します。
●リストをカテゴリに分ける場合は、「**メニュー**」→「**フィルタ**」をタップし、カテゴリを選択します。

補 足

● さらに仕事を分ける場合は、「**作業中の仕事**」または「**終了した仕事**」をタップします。

Windows Live

Windows Liveでは、検索サービスを利用することができます。また、サインインすると、アルバム機能が充実したブログサービスなど、便利で使いやすいさまざまなサービスを利用することができます。

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Windows Live」をタップ**

2 **検索ボックスに単語を入力→検索アイコン( )をタップ**

●検索以外のサービスをご利用になる場合は、「**ここをクリックしてサインインします。**」をタップします。

Windows Media Player

Windows Media Player Mobile について

Windows Media Player 10 Mobileを使用してウェブや本機に保存されているオーディオファイルやビデオファイルを再生することができます。
Windows Media Player Mobileは以下のファイル形式を再生することができます。

●.wma
●.wmv
●.mp3
●.asf
●.3gp
●.mp4
●.amr
●.aac
●.wav

Windows Media PlayerはWindows Mobile-based Pocket PCの他にもWindows Mobile-based SmartphoneやWindows、Macintoshのパソコンでも使用できます。

※上記ファイル形式でも一部再生できない場合があります。

操作ボタンについて

各ボタンにはWindows Media Player Mobileの機能が以下のように割り当てられています。

◉：再生／一時停止
◎：ファイルの先頭に戻る
◎：次のファイルにスキップ
◎：音量を上げる
◎：音量を下げる
◎長く（約2秒以上）押す：早送り
◎長く（約2秒以上）押す：巻き戻し

画面とメニューについて

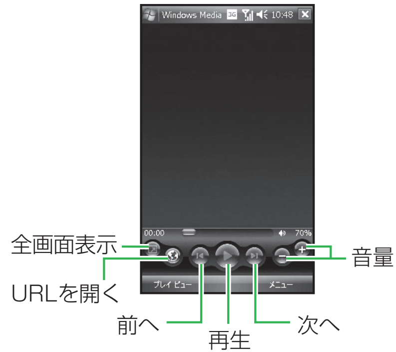
Windows Media Player Mobileには3つの初期画面があります。

●プレイヤー画面　：操作ボタン（再生、一時停止、次へ、前へ、音量）や現在のファイルのレート表示、アルバムアートウィンドウ、ビデオウィンドウを表示します。

●プレイビュー画面：再生中のファイルおよび再生リストを一覧表示します。

●ライブラリ画面　：オーディオファイル、ビデオファイル、再生リストの確認や選択ができます。マイミュージック、マイビデオ、マイテレビ、再生リストのカテゴリがあります。また、プレイビュー画面に切り替えることもできます。

プレイヤー画面



プレイビュー画面のメニューアイテムについて

●ライブラリ...　：ライブラリを表示します。

●上へ　：選択したアイテムを再生リストの上の方に移動します。

●下へ　：選択したアイテムを再生リストの下の方に移動します。

●再生リストから削除：再生リストから選択したアイテムを削除します。

●ランダム再生／連続再生：

- **ランダム再生**　：プレイビュー画面の再生リストにあるアイテムをランダムで再生します。
- **連続再生**　：プレイビュー画面の再生リストにあるアイテムを繰り返し再生します。

●**再生リストの保存...**：再生リストを保存します。
●**プレイビューの消去**：プレイビュー画面の再生リストにあるすべてのアイテムを消去します。
●**エラーの詳細**：選択したアイテムについてのエラー情報を表示します。エラーの詳細が確認できるアイテム名の前には「!」が表示されます。
●**プロパティ**：選択したファイルの情報を表示します。

ライブラリ画面のメニューアイテムについて

●**再生待ちに追加**：再生リストの最後に選択したアイテムを追加します。
●**ライブラリから削除**：ライブラリから選択したアイテムを削除します。
●**プレイビュー**：再生中のファイルと再生リストを一覧表示します。
●**ライブラリ→マイデバイス／Storage Card**：本機とメモリカードのライブラリを切り替えることができます。
●**ライブラリの更新...**：本機またはメモリカードから新しいアイテムを追加します。
●**ファイルを開く...**：ライブラリにないファイルに簡単にアクセスします。
●**URLを開く...**：インターネットからファイルを再生します。
●**プロパティ**：選択したファイルについての情報を表示します。

ライセンス保護されたファイルについて

デジタルメディアファイルは、無許可で配布や再生されないようにライセンスで保護されているファイルです。

ライセンスによりファイル利用方法が指定されます。パソコンとファイルを同期できるか、または何回までファイルを再生できるかを指定できます。ライセンスの期間はファイルを配布した人や会社によって異なります。
ライセンスはDigital Rights Management（DRM）と呼ばれる技術によって作成、管理されています。Pocket PC 用のWindows Media Player 10.3 MobileはWindows Media DRM 10をサポートしており、MSN Musicなどのオンラインストアから保護されたファイルをダウンロードし、再生することができます。
本機がライセンスによって許可されている場合、予約したものを再生したり、オンラインストアからコンテンツをレンタルしたりできます。
オンラインストアや本機に関しての情報は、PlaysForSureのウェブサイトで確認してください。
www.playsforsure.com（英文のみ）

保護されたファイルをパソコンから本機にコピーする

●本機にファイルを同期するときはパソコンのWindows Media Player 10の同期機能を使用してください。
●本機に装着されたメモリカードにファイルを同期させてください。
●パソコンのメモリカードリーダーに挿入されているメモリカードには同期させないでください。

補足

- 保護されているファイルかどうかはファイルプロパティで確認してください。

本機にあるアイテムを再生する

ライブラリを利用して本機やメモリカード内にある音楽、ビデオ、再生リストを検索したり再生したりできます。

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Windows Media」→「メニュー」→「ライブラリ...」をタップ**

●ライブラリ画面→「**メニュー**」→「**ライブラリ**」をタップし、使用したいライブラリを選択することもできます。

2 **カテゴリ(「マイミュージック」/「マイビデオ」/「マイテレビ」/「再生リスト」)をタップし、再生したいアイテムをタップする**

3 **「再生」をタップする**

補　足

- ライブラリにないファイルを再生するには、ライブラリ画面→「**メニュー**」→「**ファイルを開く...**」をタップします。再生したいアイテム(ファイルまたはフォルダ)をタップし、「**再生**」をタップします。

ネットワークにあるアイテムを再生する

インターネットやネットワークサーバー内にある音楽やビデオを再生するにはURLの設定を利用します。

1 **ライブラリ画面以外からは、「メニュー」→「ライブラリ...」をタップ**

2 **「メニュー」→「URLを開く...」をタップ**

3 **「URL」ボックスにネットワークアドレスを入力するか、履歴ボックス内にある以前使用したURLをタップする**

補　足

- ネットワーク内にあるアイテムを再生するには、ネットワークに接続してください。ネットワーク接続についての詳しい情報は「6 接続について」の章を参照してください。

本機にファイルをコピーする

手動または自動的に、パソコンと本機間でファイルを同期する(1-19ページ)ことができます。
パソコンから本機にデジタルメディアファイルを同期するにはWindows Media Player 10.3 の同期機能を使用してください。同期機能を利用することで、保護されたファイルやアルバムアートを本機にコピーすることができます。

補　足

- 同期機能を実行するには、「ActiveSync」の設定をしてください。

プレイヤー画面を変更する

プレイヤー画面を変更することができます。

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Windows Media」→「メニュー」→「オプション...」→「スキン」タブをタップ**

2 **「前へ」／「次へ」をタップする**

●スキンを確認することができます。希望のスキンを選択してください。

3 **「ok」をタップする**

補　足

- 新しいスキンをダウンロードするには、WMplugins.comのウェブサイトにアクセスしてください。
  www.wmplugins.com（英文のみ）

パソコンでスキンをダウンロードしたあと、「ActiveSync」を使用して、「.skn」や「.bmp」ファイルを本機にコピーしてください。スキンタブにそのスキンを確実に表示させるために、本機のWindowsフォルダには保存しないでください。

トラブルシューティング

Windows Media Player Mobileについてお困りの場合は、MicrosoftのウェブサイトのWindows Media Player Mobileのトラブルシューティングを確認してください。
http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=29195

Teleport

「**Remote Keypad**」と「**Remote Screen**」の2つのプログラムを使用することができます。

Remote Keypad について

本機を使用して、パソコン画面をスクロールしたり、文字を入力することができます。

Remote Screen について

本機の画面をパソコン画面に表示し、パソコンから本機を操作することができます。

Teleport を使用するための準備について

パソコンへTeleportをインストールしてください。インストールの方法については、同梱の「お使いになる前にディスク」をご覧ください。

1 パソコンのTeleportを起動する

- Teleport は「**USB**」、「**Bluetooth**」、「**Wi-Fi**」のコミュニケーションオプションをサポートしています。

2 本機とパソコンを接続し、パソコンの「Remote Keypad」または「Remote Screen」を選択する

重　要

- Wi-FiでTeleportを使用するとき、Wi-Fiの接続が切れないように、Today画面→「**スタート**」→「**設定**」→「**システム**」タブ→「**パワーマネージメント**」→「**Wi-Fi**」タブをタップし、「**Wi-Fiパワーマネージメント:**」リストから「**パフォーマンス優先**」を選択してください。

Teleport を開始する

1 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「Teleport」をタップ

2 「Remote Keypad」／「Remote Screen」をタップする

3 「接続方法」のリストから希望のオプションを選択→「次へ」をタップ

重　要

- パソコンから本機に初めて接続するときは、パソコンと本機で同じPINコードを入力します。Teleportで使用するPINコードは決められた番号ではありません。パソコンと本機で同じ番号を入力してください。

Teleport のメニューアイテムについて

- **ポート**：USBやWi-Fiのネットワークポートを設定します。
- **COMポート**：Bluetooth®の発信ポートを設定します。
- **PINコード**：TeleportのPINコードを設定します。
- **ヘルプ**：電話のTeleportの使用方法を確認できます。
- **バージョン**：Teleportのバージョンを確認できます。
- **終了**：Teleportを終了します。

Remote Keypad の使用方法について

- （上）：パソコンのカーソルを上に移動します。
- （下）：パソコンのカーソルを下に移動します。
- （左）：パソコンのカーソルを左に移動します。
- （右）：パソコンのカーソルを右に移動します。
- （決定）：パソコンのEnterキーと同一の動作をします。
- （●）（PgUp）**同時押し**：パソコンのPage Upキーと同一の動作をします。
- （●）（PgDn）**同時押し**：パソコンのPage Downキーと同一の動作をします。
- **その他のボタン**：ガイダンスどおり、文字を入力します。

GoldKey

GoldKeyは、Bluetooth®機能を利用して本機とパソコンを遠隔操作で施錠／開錠するサービスです。パソコンの解錠には、Windowsユーザアカウントの入力が必要になります。

3タイプの施錠方法

- ●コンピュータロック
- ●スクリーンセーバー
- ●ログオフ

GoldKey を使用するための準備について

パソコンへGoldKeyをインストールしてください。インストールの方法については、同梱の「お使いになる前にディスク」をご覧ください。

GoldKey のサービスを開始する

1 本機とパソコンをBluetooth®接続する

- ●Bluetooth® 接続について詳しくは「6 接続について」の章を参照してください。

2 Today画面→「スタート」→「プログラム」→「GoldKey」をタップ

3 ロックをかけるコンピュータ名を選択→「ロック」をタップ

- ●パソコンから離れると、あらかじめ登録した施錠方法が起動します。

GoldKey のサービスを停止する

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「GoldKey」をタップ**

2 **ロックを解除するコンピュータ名を選択→「ロックの解除」をタップ**

重　要

- Goldkeyのサービスをご利用になるには、Bluetooth®内蔵の東芝製パソコン、もしくは東芝製Bluetooth®アダプタが必要になります。

ズーム

ズームで画面サイズを拡大／縮小できます。最大8倍まで画面を拡大できます。ズームレベル設定ボックスを利用して、ビューアー、もしくは編集モードでズームレベルを設定することができます。お買い上げ時は「**x2 (200%)**」に設定されています。設定できるレベルは以下のとおりです。
x2（200%）／x4（400%）／x8（800%）
を長く（約2秒以上）押して、ズームを起動することができます。

ボタンについて

を押すとズームを終了し、Today画面に戻ります。
を押すとズームインします。
を押すとズームアウトします。
を押すとズームされた画面の上部にスクロールします。
を押すとズームされた画面の下部にスクロールします。
を押すとズームされた画面の右部にスクロールします。
を押すとズームされた画面の左部にスクロールします。

補　足

- ズーム画面をスタイラスでタップアンドホールドすると、「**x2**」／「**x4**」／「**x8**」が表示されます。画面をそれぞれ2倍、4倍、8倍にズームします。
- 水平と垂直のスクロールバーを使用してスクロールできます。
- スタイラスで画面上をドラッグして焦点を移動できます。
- 着信や予定表のアラームがあった場合は、ズームは自動的に終了します。
- ズーム起動中は、他のアプリケーションを操作することはできません。

DDCEviewer

辞書には「リーダーズ英和辞典第2版＋プラス」、「新和英大辞典第5版」、「大辞林第三版」の三種類があります。これらの辞書をご利用になるには、あらかじめメモリカードに辞書データをインストールしておく必要があります。

※辞書機能のインストール方法については、同梱の「お使いになる前にディスク」をご覧ください。

1 **Today画面→「スタート」→「プログラム」→「DDCEviewer」をタップ**

2 **画面左下の入力ボックスに文字を入力する**

3 **「検索」をタップする**

補　足

- 「リーダーズ英和辞典第2版＋プラス」、「新和英大辞典第5版」、「大辞林第三版」の切り替えは、「**メニュー**」→「**辞典**」→「**辞典**」をタップして行います。

付　録

メニューツリー

プログラム

Office Mobile（7-2ページ）
ゲーム（7-1ページ）
ActiveSync（1-13ページ）
FingerLauncher（7-12ページ）
GoldKey（7-31ページ）
Internet Explorer（7-14ページ）
Java（7-16ページ）
Messenger（3-12ページ）
Opera Browser（7-19ページ）
Picsel Viewer（7-20ページ）
SIM Manager（7-22ページ）
SoftBankメール（3-1、3-3ページ）
Teleport（7-30ページ）
Windows Live（7-25ページ）
Windows Media（7-25ページ）
カメラ（7-6ページ）
ファイルエクスプローラ（7-11ページ）
ヘルプ（7-13ページ）
Outlook（3-1ページ）
メモ（7-18ページ）
画像とビデオ（7-20ページ）
検索（7-22ページ）
仕事（7-23ページ）
電卓（7-3ページ）
電話（2-1ページ）
予定表（7-3ページ）
連絡先（7-8ページ）
DDCEviewer（7-33ページ）

設定

<個人用>タブ

Today（5-9ページ）
TVコール（5-10ページ）
オーナー情報（5-4ページ）
ボタン（5-1ページ）
メニュー（5-4ページ）
ロック（5-2ページ）
入力（5-1ページ）
指紋（5-3ページ）
電話（5-5ページ）
音と通知（5-8ページ）

<システム>タブ

External GPS（5-14ページ）
Windows Update（5-17ページ）
エラー報告（5-14ページ）
カスタマ フィードバック（5-13ページ）
バックライト（5-11ページ）
バージョン情報（5-10ページ）
パワー マネージメント（5-16ページ）
プログラムの削除（5-16ページ）
マスタークリア（5-15ページ）
メモリ（5-15ページ）
地域（5-16ページ）
時計とアラーム（5-12ページ）
暗号化（5-13ページ）
画面（5-17ページ）
証明書（5-11ページ）

<接続>タブ

Bluetooth（6-5ページ）
GPRS Settings（6-2ページ）
PCへのUSB接続（6-11ページ）
USB マスストレージ（6-11ページ）
Wi-Fi（6-9ページ）
ビーム（6-7ページ）
ワイヤレスマネージャ（6-10ページ）
接続（6-1ページ）

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	・電池パックは正しく取り付けられていますか？ ・電池切れになっていませんか？ ・◎を長く（約4秒以上）押していますか？すぐ◎を離すと電源は入りません。 ・リセットボタンを押してください。
充電ができない	・充電端子や外部接続端子、電池パックの端子などが汚れていませんか？ 乾いた綿棒などで清掃してください。
電源を入れたあと、通常の操作ができない	・「**デバイスはロックされています**」と表示されていませんか？ メニューバーの「**ロックの解除**」をタップして解除してください。 ・「**SIMカードが存在しません。**」と表示されていませんか？ 電源をオフにし、SIMカードが正しく挿入されていることを確認してください。
電話やTVコールがつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	・圏外になっていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・ワイヤレスマネージャの「**発信**」が「**Off**」になっていませんか？ 「**On**」にしてください。
電話やTVコールがかけられない	・市外局番から、かけていますか？ ・回線が混み合っている場合があります。しばらくたってからもう一度かけ直してください。 ・発信先固定を設定していませんか？ ・発着信制限を設定していませんか？
電話やTVコールが着信しない	・発着信制限を設定していませんか？
メールが送信できない	・発着信制限を設定していませんか？
メールが受信できない	・発着信制限を設定していませんか？
通話の途中に途切れたり、切れたりする	・圏外になっていませんか？電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
数字や記号しか入力できない	・[•]+[文字記号]を押してください。
数字や記号を入力できない	・[•]を押しながら入力するか、[•]+[文字記号]を押したあと入力してください。
英字の大文字が入力できない	・[•]+[Shift Lock]を押してください。大文字と小文字の切り替えができます。

現象	確認すること／対処方法
ボタンを押しても、何も反応しない	・「**デバイスはロックされています**」と表示されていませんか？ メニューバーの「**ロックの解除**」をタップして解除してください。 ・デバイスがロックされていなく、何も反応しない場合は以下の対処方法を順番に行ってください。 （1）電源のオン・オフをしてください。 （2）リセットボタンを押してください。 （3）電池パックを取り外し、取り付けてください。
データが正常に表示されない	・リセットボタンを押してください。
インストールしたプログラムや容量の大きなファイルを保存していないのにメモリの空き領域がほとんどなくなっている	・インターネットを閲覧したときのキャッシュでメモリを使用している場合があるのでキャッシュを削除してください。 **Internet Explorerの場合** 「**メニュー**」→「**ツール**」→「**オプション...**」→「**メモリ**」タブ→「**ファイルを削除**」をタップ **Opera Browserの場合** 「**メニュー**」→「**ツール**」→「**設定**」→「**履歴**」タブ→「**キャッシュ削除**」→「**はい**」をタップ ・プログラムを開きすぎている場合があるので、使用していないプログラムを終了させてください。 Today画面→「**スタート**」→「**設定**」→「**システム**」タブ→「**メモリ**」→「**実行中のプログラム**」タブで使用していないプログラムを選択→「**終了**」をタップまたは「**すべて終了**」をタップ
インターネットに接続できない	・プロバイダのアクセスポイントの電話番号が、あっているか確認してください。 ・インターネットに接続するユーザー名／パスワードがあっているか確認してください。 ・サーバーアドレスなどが、プロバイダから指定されたものとあっているか確認してください。 ・圏外になっていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？
ActiveSyncがインストールできない ActiveSyncを使って接続／同期ができない	・パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、停止してからインストールしてください。 ・パソコンにOutlookがインストールされているか確認してください。
付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続しても、ActiveSyncが動作しない	・パソコンに正しく接続されているか確認してください。 ・パソコンのActiveSyncの設定「**ファイル**」→「**接続の設定**」で「**USB接続を有効にする**」にチェックが入っているか確認してください。
同期がうまく取れなくなった	・複数のプログラムを起動している場合は、プログラムをすべて終了してから操作してください。 ・同期中に接続／切断を繰り返したりUSBケーブルを取り外したりすると、正しく接続ができなくなることがあります。本機をリセットし、パソコンを再起動をさせてからもう一度接続してください。

主な仕様

システム情報	プロセッサ	Marvell® PXA270 Processor 520 MHz
	メモリ	RAM: 128MB
		ROM: 128MB
	オペレーティングシステム	Windows Mobile 6 Professional
UMTS/HSDPA GMS/GPRS/EDGE 周波数範囲	3G (UMTS) 2100	1920 ～ 2170 MHz
	GSM 900	880 ～ 960 MHz
	DCS 1800	1710 ～ 1880 MHz
	PCS 1900	1850 ～ 1990 MHz
連続通話時間	3G (UMTS) 圏内	約200分
	TVコール	約60分
	GSM圏内	約170分
連続待受時間	3G (UMTS) 圏内	約380時間
	GSM圏内	約300時間
充電時間		約280分
サイズ (W×H×D)		約61mm×119mm×21.5mm
最大出力	3G (UMTS) 2100	Class 3　0.25 W
	GSM 900	Class 4　　2 W
	DCS 1800	Class 1　　1 W
	PCS 1900	Class 1　　1 W
質量		約198g
急速充電器	入力電圧	100 ～ 240V　50／60Hz
	充電可能温度	5 ～ 35℃
画面	LCD	タッチスクリーン付3.0インチTFT LCD
	解像度	480×800 (64,000色)
オーディオ／ビデオ コーデック	オーディオ	AMRNB、AAC、AAC+、eAAC+、MP3、WMA、WAV
	ビデオ	H.263、MPEG4、WMV

接続	Bluetooth®	Bluetooth® Ver.2.0 + EDR（Power Class 2）
		GAP（汎用アクセスプロファイル）
		SPP（シリアルポートプロファイル）
		HSP（ヘッドセットプロファイル）
		HFP（ハンズフリープロファイル）
		AVRCP（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
		A2DP（アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル）
	ワイヤレスLAN	IEEE 802.11b/g（1～11ch）
		WPA WPA2 WEP TKIP AES
インターフェイス	ケーブルと電話機充電	mini USB（ホスト／クライアント）／充電器
	ヘッドセットコネクター	ø2.5mm ステレオヘッドセット
	拡張スロット	miniSD

●数値は、電池パック装着時のものです。
●連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
●連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本体を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。
●電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
なお、利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●フラッシュライトを使用した撮影のご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●バックライトが点灯している状態でのご利用（Internet Explorerご利用時など）が多い場合は、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。

用語集

用　語	説　明
3G／UMTS	第3世代（3G）移動体通信システムです。UMTSは、ヨーロッパの3G移動体通信システムのことです。
GSM	デジタル携帯電話の通信方式の一つです。ヨーロッパやアジアを中心に世界で最も一般的に利用されています。
GPRS	GSM方式の携帯電話網を使ったデータ伝送技術です。パケット通信方式の高速なデータ通信が可能です。
USIM カード	本機に挿入して使います。カード内にはお客様の電話番号や契約している携帯電話機の情報などが記憶されています。また、連絡先などを保存することができます。携帯電話機を変更する際も同じUSIMカードを継続して利用することにより、その情報を新しい携帯電話機へ引き継ぐことができます。
PIN コード	Personal Identification Number（個人識別番号）の略で、本機でUSIMカードを使うために必要な暗証番号のことです。本機が紛失·盗難などにあった場合でも、第三者が携帯電話を使えないようにできます。
S! メール	長い文字のメッセージや画像、ビデオ、メロディを添付して送受信できます。
SMS	携帯電話どうしで短い文字のメッセージを送受信できます。
SSL	インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのインターネット上の危険を防げます。SSL通信ではサーバー証明書を利用します。
サーバー証明書	サーバーを運用しているサイトが信頼できることを示す電子的な証明書です。SSL通信（暗号化された通信）に必要な情報、サーバーの情報、また、そのサーバーが本物であると証明した認証機関の電子的な署名がされています。
HSDPA	High Speed Downlink Packet Accessの略で、第3世代（3G）携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した通信規格です。

索引

8
索引

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。

重　要

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（8-3ページ）をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

●**保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

●**保証期間経過後の修理**
修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

重　要

- 故障または修理の際、Windows Updateでアップデートした内容が消去される場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理の際、MACアドレスが変更になることがありますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えを取っておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先やフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

補　足

- アフターサービスについてご不明な場合は、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（8-15ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	ソフトバンク国際コールセンター
総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料） **紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）**	**海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡** **+81-3-5351-3491（有料）**

一般電話からおかけの場合

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

MEMO

MEMO

MEMO

SoftBank X01T 取扱説明書

2010年2月　第2版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank X01T

製造元：株式会社 東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（連絡先・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

PRINTED WITH SOY INK

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

古紙配合率100%再生紙を使用しています